

扱フヘシ

第二條 經費ノ支出額ハ毎年度末ニ至リ精算書ヲ製シ翌年度四月五日限り差出スヘシ

○塵芥場規則明治二十二年十月五日
大阪市規則第三號

本市會ニ於テ塵芥場規則ヲ議決シ市制第百二十三條ニ依リ大阪府知事ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

塵芥場規則

第一條 公設芥場ノ數ハ大約四百八十二箇所以内トシ實際ノ便宜ニ依リ之ヲ設置スルモノトス

第二條 公設塵芥場掃除ノ方法ハ塵芥掃除規則ノ定ムル所ニ依ル

○塵芥掃除規則明治二十二年十月七日
大阪市告示第二十八號
本市會ノ議決ニ依リ塵芥掃除規則ヲ定ムル左ノ如シ

塵芥掃除規則

- 第一條 公設又ハ私設ノ塵芥場及各戸并ニ河岸地ノ塵芥ハ左ノ區別ニ依リ掃除ス可シ 但塵芥特ニ堆積スル場合ハ此限ニ在ラス
 - 一 公設塵芥場 毎日 一回
 - 二 私設塵芥場 毎五日 一回
 - 三 各戸ノ塵芥 毎五日 一回

四河岸地ノ塵芥 毎日 一回

第二條 塵芥掃除ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄テ一期トシ入札ヲ以テ請負ヲ命ス可シ 但其規則ハ別ニ之ヲ定ム

第三條 私設塵芥場ヲ新設シ又ハ變更廢止セント欲スルモノハ其事由ヲ具シ認可ヲ受ク可シ 但邸宅構内ニ設クルモノハ此限ニ在ラス

第四條 私設塵芥場ノ構造不完全ナルモノ又ハ破損セシモノアルトキハ其設立者ヲシテ改造又ハ修繕ヲ爲サシム可シ

第五條 塵芥掃除ハ時々主務吏員ヲ派遣シ之ヲ監視セシム可シ

○塵芥掃除入札請負規則明治二十二年十月七日
大阪市告示第二十九號

本市會ノ議決ヲ經テ塵芥掃除入札請負規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

塵芥掃除入札請負規則

第一條 塵芥掃除請負人ハ塵芥掃除規則ノ規定ニ違ヒ塵芥及ヒ塵芥ニ混同スル瓦礫及土灰竹木其他汚穢物等ニ至ル迄悉皆之ヲ掃除シ尙塵芥場ノ近傍ハ清潔ニ之ヲ掃除ス可シ

第二條 塵芥堆積不潔ヲ極ムルカ又ハ掃除不充分ナルトキハ定期ノ外臨時掃除ヲ命ス可シ 請負人前項ノ掃除ヲ怠ルトキハ他人ニ命シ之ヲ掃除セシメ其費用ヲ辨償セシム可シ

第三條 塵芥掃除并運搬ニ要スル器具ハ總テ請負人ノ自辨タル可シ

第四條 請負人ハ請負ヲ命セラレタル日ヨリ五日以内ニ掃除ノ時刻并巡回線路舟車ノ員數及舟ノ定製所塵芥ノ捨場等ヲ定メ認可ヲ受ク可シ其變更ヲ要スルトキ亦同シ

第五條 塵芥運搬中市内瀆地等ニ積置キ之カ糞分ヲ爲シ又ハ河中ニ投棄ス可カラズ

第六條 請買人及ヒ掃除人夫ハ私設塵芥場又ハ各戸ノ塵芥ヲ掃除スルカ爲メ其設立者又ハ月主等ニ對シ
金品ノ請求ヲ爲ス可カラス

第七條 暴風雨等ノ爲メ掃除ヲ爲シ難キトキハ其事由ヲ具シ認可ヲ受ク可シ
前項認可ヲ得タルトキハ其翌日倍數ノ人夫ヲ出シ之カ掃除ヲ爲ス可シ

第八條 公設又ハ私設ノ塵芥場ニ破損ノ箇所アルトキハ請買人ヨリ届出ツ可シ

第九條 請買人ハ請買ニ關スル一切ノ事件ヲ處辨スル爲メ各區役所ヲ距ル凡ソ五丁以内ニ其事務所及ヒ
代人ヲ置キ之ヲ届出ツ可シ

第十條 塵芥掃除費ハ其請買金額ヲ月數ニ割當テ毎月五日前月分ヲ請求ス可シ
請買金額ハ時宜ニ依リ塵芥場ヲ増減スルモ之ヲ變更セス

第十一條 身元保證金ハ請買満期ノ際之ヲ還付ス可シ

第十二條 請買人請買規則又ハ命令ニ違背スルトキハ期限内ト雖モ其請買ヲ取消スコトアル可シ
前項請買ヲ取消シタルトキハ身元保證金ヲ沒收ス可シ

第十三條 前各條ニ掲クル外入札請買ノ方法ハ工事入札請買規則ヲ適用ス 但入札及請買證ハ別紙様式
ニ依ル

(別紙) 第一號様式
入 札
一金何圓也
右金額ヲ以テ掃除方請買可申候也
大阪市公設私設塵芥場并ニ各戸塵芥掃除費

年 月 日
住 所
姓 名 印

大阪市参事會

大阪府知事宛
第二號様式

請買證

一金何百何拾圓也
此身元保證金
金何圓也

(何公債證書額面何圓 何枚)
(何國立銀行預券何圓)

右金額ヲ以テ請買被命候依テ前記(現金、公債證書) 身元保證トシテ御廳へ差出置總テ塵芥掃除規則
ニ從ヒ何年何月ヨリ何年何月迄請買可申候萬一御規則等ニ違背シタルトキハ違約トシテ身元保證金ヲ
沒收セラル、ハ勿論御規則ノ通處分相成候共異議無之又御廳ノ損害トナルヘキ不都合ノ所爲有之本人
ニ於テ等閑ニ附スルトキハ保證人ニ於テ引受處分可致候仍テ連署ヲ以テ請買證差上候也
年 月 日
住 所
請買人 姓 名 印

住 所
保證人 姓 名 印
(保證人ハ府下現住者ニ限ル)

大阪市参事會
大阪府知事宛

○路傍便所規則 明治二十二年十月五日
大阪市規則第四號

本市會ニ於テ路傍便所規則ヲ議決シ市制第二百二十三條ニ依リ大阪府知事ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

路傍便所規則

第一條 市内路傍便所ハ總數九百五十七ヶ所以内トシ實際ノ便宜ニ應シ之ヲ設置スルモノトス

第二條 路傍便所掃除汲取又ハ點燈ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ヲ一期ト定メ入札ヲ以テ請負ヲ命スヘシ 但請負ノ方法ハ別ニ定ムル所ニヨル

第三條 掃除又ハ汲取ハ毎日一回之ヲ行フヘシ 但尿尿滿溢又ハ汚物アル場合ニ於テハ臨時汲取又ハ掃除スルコトアルヘシ

第四條 惡疫流行又ハ炎暑ノ際ハ毎日防臭藥ヲ撒布スヘシ

第五條 臨時主務吏員ヲ派シ掃除又ハ汲取ノ實況ヲ監視セシムヘシ

○路傍便所掃除汲取及點燈入札請負規則 明治二十二年十月一日
大阪市告示第二十二號
本市會ノ議決ヲ經テ路傍便所掃除汲取及點燈入札請負規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

路傍便所掃除汲取及點燈入札請負規則

第一條 路傍便所掃除汲取又ハ點燈ハ各別ニ其請負ヲ命スヘシ 但點燈ハ街燈請負費額ヲ以テ同請負人ニ命令シ之ニ關スル規定ハ橋燈及街燈點火入札請負規則ヲ適用スヘシ

第二條 汲取ノ請負ヲ命セラレタルモノハ身元保證金トシテ請負金額四分ノ一ヲ差出スヘシ

第三條 便所數ヲ増減シタル場合ト雖モ其數五十個所以内ニ止マルトキハ掃除又ハ汲取請負金ハ特ニ之ヲ増減セサルヘシ但五十個所以上ヲ増減シタルハ其翌月ヨリ請負金ヲ増減スヘシ

第四條 掃除又ハ汲取等ニ要スル器械ハ總テ請負人ノ自辨タルヘシ

第五條 請負人ハ掃除又ハ汲取ニ係ル一切ノ事件ヲ辨スル爲メ府廳ヲ距ル五丁以内ノ地ニ事務所及代人ヲ置キ其町名番地及氏名ヲ届出ヘシ

第六條 掃除請負人ハ請負ヲ命セラレタル後五日以内掃除人夫一人ニ對スル擔當區域及其巡回路線掃除ノ時間ヲ定メ認可ヲ受クヘシ其之ヲ變更スルハ亦全シ

第七條 掃除ハ毎日一回之ヲ行フヘシ 但便所ノ周圍一間以内ニ於テ塵芥其他ノ汚物アルトキハ併テ掃除スヘシ

掃除不充分ト認ムルトキハ臨時掃除ヲ命スヘシ 但其費用ハ請負人ノ負擔トス

第八條 掃除請負人ハ毎月一回以上自費ヲ以テ各便所ノ周圍ニ平均一荷以上ノ土砂ヲ撒布スヘシ

第九條 便所ニ小破損(板離ノ類)アルトキハ掃除請負人ハ自費ヲ以テ之ヲ修理スヘシ

第十條 掃除請負人ハ便所ニ大破ヲ生シタルハ汲取方不充分ト認ムルハ速ニ届出ヘシ

第十一條 惡疫流行又ハ炎暑ノ際ハ掃除請負人ハ毎日防臭藥ヲ撒布スヘシ但藥品ハ府廳ヨリ下付スヘシ

第十二條 掃除費金ハ毎月二十五日其月分ヲ請求スヘシ

第十三條 汲取ハ毎日一回之ヲ行フヘシ若シ不充分ナリト認ムルハ臨時汲取ヲ命スヘシ 但其費用ハ請負人ノ負擔トス

第十四條 尿尿滿溢等ニヨリ至急汲取ヲ要スルハ臨時他ノ營業人ヲシテ汲取シムルコトアルヘシ此場合ニ於テハ其尿尿ハ請負人ノ損失トス

第十五條 汲取請負人ハ何所ニ破損アル片又ハ掃除不充分ト認ムル片ハ速ニ届出ヘシ
第十六條 便所ノ容器内ニ溜溜スル土砂等ハ時々汲取ルヘシ。但農作肥料ニ供スルノ外糞リニ他ノ個所ニ投棄スヘカラス

第十七條 屎尿代金ハ請負金額ヲ四分シ左ノ期限ニ從ヒ三ヶ月分ヲ前納スヘシ。但休日ニ當ル片ハ其翌日之ヲ納ムヘシ
四月一日 七月一日 十月一日 翌年一月六日

第十八條 此規則ニ掲クル外入札及請負ノ方法ハ工事入札請負規則ヲ適用ス。但入札請負證ハ別紙様式ニ依ルヘシ

第十九條 身元保證金ハ請負滿期ノ後之ヲ還付スヘシ

第二十條 請負人規則命令ニ違背スル片ハ期限内ト雖モ直ニ其請負ヲ取消ス可アルヘシ
前項ノ場合ニ於テハ身元保證金ヲ沒收スヘシ

(別紙)
第一號様式
入札

一金何圓也
右金額ヲ以テ掃除方(汲取方)請負可申候也
大阪市内路傍便所掃除費
(大阪市内路傍便所屎尿代金)

年月日 住所 姓名 名印
大阪市冬事會

大阪府知事宛

第二號様式 請負證

一金何百何拾圓
此身元保證金
大阪市内路傍便所掃除費
(大阪市内路傍便所汲取代價)

金何圓 (何公債證書額而何圓 何枚)
(何國立銀行預證何圓)

右金額ヲ以テ請負被命候依テ前記(現金、公債證書)ナ身元保證トシテ御廳へ差出置候テ路傍便所規則ニ從ヒ何年何月ヨリ何年何月迄請負可申候高ニ右規則ニ違背シタル片ハ違約金トシテ身元保證金ヲ沒收セラル、ハ勿論御規則ノ通處分相成候共其職無之御廳ノ損害トナルヘキ不都合ノ所爲有之本人ニ於テ等閑ニ付スル片ハ保證人ニ於テ引受處分可致候仍テ連署ヲ以テ請負證差上候也
年月日 住所 姓名 名印
請負人 住所 姓名 名印
保證人 住所 姓名 名印
(保證人ハ府下現住者ニ限ル)

大阪府知事宛
大阪市冬事會

○塵芥掃除施行手續及路傍便所新築改造
移轉廢除掃除汲取點火ニ關スル規程 明治二十五年三月三十一日
大阪市訓令第六號

區 役 所

明治二十四年四月 大阪府訓令第六號塵芥掃除施行手續及同年五月 同市訓令第八號路傍便所新築改造移轉廢除又ハ掃除汲取若クハ點燈ニ關スル事件左ノ通り改正ス

第一條 塵芥場及路傍便所ノ新築改造修繕移轉廢除ニ關スル事件及經費ノ支出ハ豫算金額以內ヲ以テ區長之ヲ取扱フヘシ

第二條 公設塵芥場及路傍便所新設改造ハ仕様書及圖面ヲ製シ工事請負入札規則ニ據リ落札者ヲ定メ市參事會ノ認可ヲ經テ請負ヲ命スヘシ 但費額五拾圓未滿ノモノハ數ヶ所取纏メ合金五拾圓以上ニ至ルヲ待テ入札ニ付シ若シ急施ヲ要シ五拾圓以上ニ至ルヲ待テ難キトキハ便宜當業者ノ競争代價書ヲ徵シ市參事會ノ認可ヲ經テ二十二

年大阪府訓令第四號ニ依リ之カ請負ヲ命スヘシ

第三條 修繕又ハ移轉廢除等ハ市參事會ノ認可ヲ經テ別ニ請負ノ方法ヲ定ムヘシ

第四條 塵芥掃除及路傍便所尿尿汲取又ハ掃除點燈等ノ監督方法ニ付テハ請願巡查ト協議ヲ遂ケ之カ周到ヲ計ルヘシ

第五條 路傍便所尿尿汲取及掃除并點燈請負ハ市參事會ニ於テ之ヲ命シ其氏名及請負命令書等ヲ通達スヘシ其請負ヲ解キタルトキ亦同シ

第六條 前條請負人氏名ヲ通達シタルトキハ掃除人夫一人ニ對スル擔當區域及巡回線

路掃除時間等ヲ詳記シタル書面ヲ該請負人ヨリ徵シ認可シ置クヘシ

第七條 路傍便所尿尿汲取及ヒ掃除并ニ點燈ニ係ル一切ノ事務ヲ辨セシムル爲メ其請負人ヲシテ便宜ノ地へ人夫又ハ代人ヲ置カシムヘシ

第八條 區長ハ路傍便所尿尿汲取又ハ掃除若クハ點燈ノ周到ナラサルカ若クハ請負人規則ニ違背シ又ハ命令ニ從ハサルコトアルトキハ意見ヲ市參事會ニ具中スヘシ

第九條 區長ハ毎年度塵芥費及路傍便所費支出額ヲ精算シ翌年度四月三十一日限り第一號第二號ノ様式ニ依リ精算書ヲ差出スヘシ

第十條 路傍便所ニ新規點燈ヲ要スルトキ又ハ都合ニ據リ點燈ヲ要セサル場合ハ區長ニ於テ直ニ請負人へ命令シ總テ翌月二日限り第三號様式ニ依リ其點消ヲ報告スヘシ

第一號 (用紙美濃紙)
明治何年度市費塵芥費精算書

種科	目	支出金額	延數々量	一箇平均額	事由
掃除費					
塵芥場新設費					

塵芥場改造費					
同 修繕費					
同 移轉廢除費					
移 轉 費					
廢 除 費					
合 計					

右ハ當區内市費何費何年度支出精算書面之通相違無之候也

年 月 日

何 區 長 氏 名 印

大阪府知事宛

大阪府知事宛

第二號 (用紙美濃紙)

明治何年度市費路傍便所費精算書

一金 内

種科	目	金 額	延 數 々 量	一箇平均額	事 由
新 設 費	兩 便 所				
	二個建小便所				
	一個建小便所				
改 造 費	兩 便 所				
	二個建小便所				
	一個建小便所				
修 繕 費	兩 便 所				
	大 便 所				
	小 便 所				

移轉廢除費									
移轉									
兩便所									
大便所									
小便所									
廢除									
兩便所									
大便所									
小便所									
合計									

右ハ當區内市費何費何年度支出精算書面ノ通相違無之候也

年月日

大阪市參事會
大阪府知事宛

何區長 氏 名印

第三號 (用紙美濃紙)

明治何年何月中路傍便所點燈點消報告書

月 日	點燈基数	事由
前月末日	何十何基	
何月一日	何十何基	何町何丁目一ヶ所何々ニ據リ休點ニ付前日ヨリ一基ヲ減ス
何月二日	、、、、	何町何丁目便所 <small>大新</small> 規燈器取設ノ分何基點燈前日ヨリ何基ヲ増ス
何月三日	、、、、	何町何丁目便所 <small>小</small> 何町何丁目便所何々ニヨリ休點ノ所本夜ヨリ燈點ニ付前日何基ヲ増ス
計	、、、、	

右及報告候也

年月日

大阪市參事會
大阪府知事宛

何區長 氏 名印

○種痘費支給手續 明治二十五年四月二十七日
大阪市訓令參第七號

區 役 所

明治二十二年大阪市訓令第三十一號種痘費支給手續左ノ通改正ス

種痘費支給手續

- 第一條 種痘擔理醫ノ手當ハ區長ニ於テ指定シタル種痘所ニ於テ接種セシ人員ニ應シ市參事會之カ金額ヲ定ムルモノトス
- 第二條 區長ハ前條ニ依リ接種セシ人員ヲ第一號様式明細書ニ通知書ノ甲乙ヲ添付手當支給方ヲ毎月五日限り申請スヘシ
- 第三條 區長ニ於テ手當下付ノ指令ヲ受ケタルトキハ其金額ヲ擔理醫ニ相渡スヘシ
- 第四條 種痘所使丁給料及需用費借家料等ハ區長之ヲ支出スヘシ
- 第五條 第三條第四條ノ支出金ハ其月分ヲ翌月十日限決算シ差出スヘシ
- 第六條 區長ハ第五條決算ノ外尙全一年度中ノ支出額ヲ精算シ年度後三十日以内第二號様式ニ據リ報告スヘシ
- 第七條 種痘者ニ付與スヘキ種痘證書及之ニ屬スル一切ノ費用ハ種痘擔理醫各自ノ負擔トスルヲ以テ種痘費ヨリ支出スルノ限ニアラス

第一號

明治何年何月中種痘接種人員明細書

種 別	再 試 種			合 計	擔 理 醫 姓 名
	初 種	再 種	三 種		
人 員	何 人	何 人	何 人	何 人	何 某
合 計	〃				

右之通相違無之候也

年 月 日

何區長 氏 名 印

第二號

明治何年度市費種痘費精算書

一金

但種痘所何ヶ所開設日數何日間ニ對ス費用ニシテ其詳細左表ノ如シ

種目	豫算額	支出額	延人員日數々々	全上人員日數々々	豫算ニ比シ増減	事	由
醫員手當							此剩餘ヲ生スル所以ハ云々
初種							
再三種							
使丁給料							此超過セシ所以ハ云々以下全斷記入スヘシ
需用費							
何々							
何々							
借家料							

合計

右當區種痘費支出精算書面之通候也

年月日

大阪市參事會

大阪府知事宛

何區長

氏

名印

○交通遮斷窮民救助規則 明治二十三年八月二十七日 大阪市告示第四十一號

本市會ノ議決ヲ經テ交通遮斷窮民救助規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

交通遮斷窮民救助規則

第一條 傳染病豫防ノ爲メ一戶若クハ一部落ノ交通ヲ遮斷シタルキハ其遮斷内ニ居住又ハ滞在スル貧困者ニシテ資ヲ受クヘキ親戚故舊ナキモノニ限り此規則ニ依リ救助スルモノトス

第二條 救助ヲ受ントスル者ハ書面若クハ口頭ヲ以テ豫防消毒施行ノ爲メ出張セシ吏員ニ願出ヘシ

第三條 前條出願ノ者アルトキハ區長ニ於テ其事實及人員ヲ審査シ遮斷中救助米及飲料水其他飲食ニ必要ナル物品並ニ轉居隔離ノ爲メ家賃ヲ要スルトキハ其家賃ヲ給與スヘシ

第四條 救助米ハ年齢十五年以上七十年未滿ノ男ハ一日白米五合十五年未滿並七十年以上ノ男及女ハ一日全四合ノ割ヲ以テ之ヲ給與スヘシ

○窮民救助規則 明治二十二年十月一日 大阪市告示第十四號
本市會ノ議決ヲ經テ窮民救助規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

窮民救助規則

第一條 無告ノ窮民ニシテ明治七年第六十二號公達恤救規則ニ依リ救助ヲ受クルモ尙生存スルコト能ハサル者又ハ恤救規則ニ適合セサルモ飢渴ニ迫リ捨置キカマキモノアルトキハ一人一ヶ年金十八圓以内ノ金額ヲ以テ之ヲ救助ス可シ
救助ヲ受クルモノ罹病若クハ死亡シタルトキ又ハ現ニ救助ヲ受サルモ情狀相等シキモノ罹病若クハ死亡シ費用支辨ノ途ナキトキハ其療養若クハ埋葬ニ關スル費用ハ實費ヲ支給ス

第二條 前條ニ依リ救助又ハ埋葬費ノ支給ヲ要スルモノルトキハ區長ハ其事狀ヲ具シ之ヲ市參事會ニ申請ス可シ
市參事會ハ區長ノ申請ニ依リ事實ヲ審査シ不得已モノト認ムルモノハ其支給金額ヲ定メ之ヲ給與ス可シ

○窮民救助費支給手續 明治二十二年十一月一日 大阪市訓令第六號

區 役 所

窮民救助費支給手續左ノ通相定ム

窮民救助費支給手續

第一條 救助金支給ノ方法ハ國費恤救米代下渡手續ニ準據スヘシ 但食費被服費ハ第一號様式ニ依リ毎三ヶ月分ヲ其首月十日以内ニ救養費推詳費ハ其實費ヲ計算シ第二號様式ニ依リ其時々市參事會へ請求スヘシ
第二條 被救助人死亡其他異動ヲ生シタルハ直ニ市參事會へ報告スヘシ 但疾病ニ罹リタルモノアルハハ醫師ノ診斷書ヲ添へ報告スヘシ
前項ノ場合ニ於テ救助金ノ支給ヲ止ムルハ其月分ハ日割ヲ以テ支給スルモノトス
第三條 區長ハ隨時被救助人ノ居宅ニ就キ其狀況ヲ觀察シ若シ救助ヲ要セサルモノト認ムルハ直ニ之ヲ停止スヘシ
第四條 區長ハ第三號様式ニ依リ毎年度窮民救助費支出精算報告書ヲ製シ翌年度四月三十日限市參事會へ報告スヘシ

第一號

(用紙通常紙)

正副二通ヲ要ス

明治何年度市費救助費中窮民救助費請求書

一金何程

但自何年何月三ヶ月分食費被服費
至何年何月

許 可 年 月 日	支 給 金 高	事 由	住 所	被 救 助 者
何年何月何日	何圓何錢	何月何日ヨリ何月何日マ テ何ヶ月分	何區町 何ノ某	何男 何ノ某

明治何年度市費救助費中窮民救助費精算書

科目	支給金額	事由	住所		救助者
			町	戸主氏名	
食費被服費	何圓何分	何年何月何日ヨリ何年何月何日分	何	何	何男
全	〃	四月ヨリ翌年三月迄滿一ケ年	〃	〃	何々
小計	〃		〃	〃	何
療養費	〃		〃	〃	何人
全	〃		〃	〃	
小計	〃		〃	〃	何人
埋葬費	〃		〃	〃	
全	〃		〃	〃	
小計	〃		〃	〃	何人
總計	〃		〃	〃	何人

右ハ當區内市費救助費中窮民救助費何年度支出精算書面ノ通相違無之候也
 年月日 何區長 氏 名 印
 大阪市參事會 大阪府知事氏名殿

○貧民施療規則 明治二十二年十月一日 大阪市告示第十六號

本市會ノ議決ヲ經テ貧民施療規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

貧民施療規則

- 第一條 市内ニ住居スル貧困者疾病ニ罹リ他ニ保護スヘキ親族故舊ナキモノハ此規則ニ依リ施療スルモノトス
- 第二條 前條ニ依リ治療ヲ受ケントスル者ハ本人又ハ其親族知人ヨリ書面若クハ口頭ヲ以テ所轄區長ニ願出ヘシ
- 第三條 區長ハ出願者アルトキハ其事實ヲ審査シ別紙様式ノ施療券ヲ付與スヘシ
- 第四條 施療券ヲ受タル患者ハ該券ヲ携帶シ市參事會ニ於テ指定シタル病院ニ就キ治療ヲ受クヘシ 但瘋癲病患者ニ限リ入院セシムルコトアルヘシ
- 第五條 前條ニ依リ治療ヲ受ケタル患者ハ其時々施療券ノ裏面ニ治療全癒又ハ入院等月日ノ記入ヲ受クヘシ
- 第六條 患者全癒死亡又ハ一週日以上休藥スルトキハ直ニ施療券ヲ返納スヘシ
- 第七條 施療費ハ左ノ定額ニ依リ市費ヲ以テ支辨スヘシ
 - 一 診察料 一回 金貳錢五厘
 - 一 入院料 一日 金貳拾五錢

一 内用藥價 一日一方 金貳錢五厘
 一 外用藥價 實費
 一 療用品代價 同上

(別紙)

貧民施療券

區 町 番地戸主又ハ某子弟
 職 業 何 某
 生 年 月 日

右貧民施療規則第三條ニ依リ之ヲ附與ス

年 月 日

某 區 役 所

印

(裏 面)

注 意

一 此證券ハ全癒又ハ一週日以上休藥シタルトハ速ニ返納スヘシ若シ返納セサルト
 キハ無効タルヘシ

○貧民施療券付與手續 明治二十二年十月十六日
 大阪市訓令第三十二號

區 役 所

貧民施療券付與手續

貧民施療券付與手續

第一條 區長ハ施療患者名簿ヲ製シ施療券付與又ハ返納ノ時々第一號様式ニ依リ登記スヘシ
 第二條 規則第三條ニ依リ施療券ヲ付與スルトハ患者名簿ト割印ヲ爲スヘシ
 第三條 規則第四條第二項ニ依リ瘋癲患者ヲ入院セシメントスル場合ニ於テハ該券面ニ朱字ヲ以テ入院
 ヲ許ス旨附記スヘシ
 第四條 區長ハ第二號様式ニ依リ毎月施療券付與人員表ヲ製シ翌月五日限り市參事會ヘ報告スヘシ 但
 瘋癲患者ハ様式中氏名ノ肩ヘ瘋癲者タル旨明記スヘシ
 第五條 施療券用紙ハ豫算ヲ以テ市參事會ヘ請求スヘシ

第一號

施療券番號	第何號
住所及族籍	府市町何番屋敷住居何 縣何郡何村何番屋敷士族又ハ平民
別	戶主又ハ某父子兄弟
職 業	何々
氏 名	何某
生 年 月 日	何年何月何日生
施療券付與月日	何年何月何日付與
全返納事由及月日	全癒死亡又ハ休藥ニ付何年何月何日返納

第二號

明治何年何月中貧民施療券付與人名表

施療券 付與月日	施療券 番號	住 所	職 業	氏 名	生 年 月 日
何月何日	第何號	何町何番屋敷 何前縣士族又ハ平民	何業	何某	何年何月何日生
合計				何人	

右ハ貧民施療規則第三條ニ依リ施療券付與ノ人員書面ノ通ニ有之候間此段報告候也

年月日
大阪府知事氏名宛
大阪府知事氏名宛
何區長 氏 名 印

○棄兒養育規則 明治二十二年十月一日

大阪府告示第十五號

本市會ノ議決ヲ經テ棄兒養育規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

棄兒養育規則

第一條 貰受人ナキ棄兒ハ區長ニ於テ相當ノ養育人ヲ定メ之ヲ依托スヘシ

第二條 棄兒ノ養育ヲ依托スルトキハ明治四年六月布告ニ依リ國庫ヨリ下付ノ米代金

ヲ給與スルノ外補助費トシテ滿十三歲迄一人一ヶ年金拾九圓以内ノ金額ヲ給與ス可シ 但シ棄兒罹病若クハ死亡シタルトキハ其療養費及ヒ埋葬費ハ實費ヲ支給ス

第三條 前條補助費ノ支給額ハ區長ノ申請ニ依リ市參事會之ヲ定ム

○棄兒養育補助費支給手續 明治二十二年十月一日 大阪府訓令第五號

區 役 所

棄兒養育補助費支給手續

棄兒養育補助費支給手續

第一條 規則第一條ニ依リ區長ニ於テ養育人ヲ指定シタルハ其受資命令書ノ謄本ヲ添附シ市參事會ヘ報告スヘシ

第二條 補助費ノ支給方法ハ國費養育米代下渡手續ニ準據スヘシ 但食費被服費ハ第一號様式ニ依リ毎三ヶ月分ヲ其首月十日以内ニ派發費推葬費ハ其實費ヲ計算シ第二號様式ニ依リ其時々市參事會ヘ請求スヘシ

第三條 棄兒死亡其他異動アリタルハ直ニ市參事會ヘ報告スヘシ 但疾病ニ罹リタルモノアルハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ報告スヘシ

前項ノ場合ニ於テ補助費ノ支給ヲ止ムルハ其月分ハ日割ヲ以テ支給スルモノトス

第四條 區長ハ隨時養育人ノ居宅ニ就キ其狀況ヲ視察スヘシ

第五條 區長ハ第三號様式ニ依リ毎年度養育補助費支出精算報告書ヲ製シ翌年度四月三十日限リ市參事會ヘ報告スヘシ

合計何程
右之通相違無之ニ付御支給相成度此段及請求候也
年月日
大阪府知事氏名殿
何區長 氏 名印

支給年月満
一ケ年
至ラサル
ノ式
乗兒ニ
ニシテ
育人異
ル件ノ
式ナ

第三號 (用紙美濃野紙) 一通

明治何年度市費救助費中乘兒養育補助費精算書

科目	支給金額	事	山	乘兒氏名	正當領收入住所氏名
食費被服費	何圓何錢	何年何月何日ヨリ何年何月マテ何月何日分	何ノ某	何區何町	何ノ某
全	〃〃〃	四月ヨリ十月マテ七ヶ月分	拾野捨吉	全	養吉
全	〃〃〃	十一月ヨリ翌年三月マテ五ヶ月分	拾野捨吉	〃〃〃	育藏
全	〃〃〃	四月ヨリ翌年三月マテ一ケ年度分	〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃
合計	何程		何人		
療養費	何程	何月何日ヨリ何日迄分	何ノ某	〃〃〃	〃〃〃
全	〃〃〃	何月何日ヨリ何日迄分	〃〃〃	〃〃〃	〃〃〃
合計	〃〃〃		何人		
埋葬費	〃〃〃	何年何月何日死亡	何ノ某	〃〃〃	〃〃〃
合計	〃〃〃		何人		
合計	〃〃〃		何人		

總計 〃〃〃 何人
右ハ當區内市費救助費中乘兒養育補助費何年度支出精算書面之通相違無之候也
年月日 何區長 氏 名印
大阪府知事氏名殿

○市費救助費請求書副本廢止 明治二十五年一月十一日
市費救助費請求書正副二通ヲ要シ候處來ル二十五年ヨリ副本ハ要セサル義ニ被相定候間右様御承知相成度此段及御通牒候也

四區役所宛 (各通) 第一課名

○行旅病人死亡人ニ關スル諸費繰替方 明治二十五年一月十二日
大阪府訓令參三第二號

去ル明治二十二年十月廿九日大阪市訓令第三十九號ヲ以テ行旅病人死亡人ニ關スル諸費一時繰替金ノ件及訓令置候處右ハ爾後其役所經費ノ内ヨリ一時繰替支辨致スヘシ

○六傳染病ニ罹リタル貧困者救濟費繰替方 明治二十六年九月十四日
大阪府訓令參三第二九號

六傳染病ニ罹リタル貧困者救濟費用ハ自今其役所經費中ヨリ一時繰替支辨スヘシ

警 備

○消防規則 明治二十六年三月三十一日
大阪府告示第十號

明治二十二年十月 大阪府告示第十二號消防規則左ノ通改正來ル四月一日ヨリ施行ス

消防規則

第一條 市ニ火災警備ノ爲メ左ノ職員ヲ以テ消防組ヲ組織シ東西南北ノ各區及水上樞要ノ場所ニ屯所ヲ設ケ之シニ配置ス

- 一 機關手
- 一 機關手補
- 一 組 頭
- 一 小 頭
- 一 水 夫
- 一 火 夫
- 一 消防手
- 一 消防醫

第二條 各區消防組ヲ別テ一番二番三番消防組トシ各區ノ頭字ヲ冠シ水上ハ水上消防組ト稱シ定員及機械ノ配置ハ別紙第一號第二號表ニ據ル

第三條 組頭以下消防手ヲ別テ常備豫備ノ二種トシ常備ハ有給トシ豫備ハ手當ヲ給ス

第四條 消防組ハ總テ警察官ノ指揮命令ニ從ヒ火災消防ニ從事ス

第五條 機關手(機關手補モ包含ス以下同シ)ハ機關一切ヲ掌リ組頭ハ小頭以下ヲ監督シ小頭ハ組頭ヲ補佐ス

第六條 水夫ハ汽船ノ運轉ヲ掌リ火夫ハ機關手ノ指揮ヲ受ケ汽罐部ニ從事ス

第七條 機關手及常備組頭以下ヲ二部ニ別テ隔日勤務トシ水上消防組機關手水火夫ノ勤務ハ便宜之ヲ定ム

第八條 豫備組頭以下ハ常務ナク警察官ノ指揮ニ據リ臨時勤務ヲ爲スコトアルヘシ

第九條 各區消防組月番ヲ定ムル左ノ如シ

東消防組	一月	三月	五月	七月	九月	十一月
南消防組	二月	四月	六月	八月	十月	十二月
西消防組	三月	五月	七月	九月	十一月	一月
北消防組	四月	六月	八月	十月	十二月	二月

第十條 市内出火ノ際ハ常備豫備又ハ當非番ニ拘ハラズ各消防組ハ其屯所ニ集合シ受持區内ナレハ直ニ現場ニ駆付消防ニ從事シ時機ヲ失セサルコトニ注意スルヲ要ス
受持區外出火ノトキハ月番消防組ハ直ニ現場ニ駆付消防ニ從事シ月番ニアラサル消防組ハ燒點ノ最モ近キ適宜ノ場所ニ出張シ警察官ノ指揮ヲ待ツヘシ

第十一條 前條ノ場合水上消防組ハ直ニ援鉤シ出火場ノ最近河岸ニ碇泊シ火勢猛烈又ハ大火ニ至ルノ虞アルトキニ限り消防ニ従事スヘシ

第十二條 接續郡部出火ノ際市部ニ延焼ノ虞アルトキハ月番消防組ニ限り市郡境界迄出張シ月番ニアラサル消防組及ヒ水上消防組ハ各屯所ニ集合シ警察官ノ指揮ヲ待ツヘシ

第十三條 消防醫ハ出火ノ際直ニ適宜ノ場所ニ出張シ機關手以下職務上ノ負傷者ヲ治療ス

第十四條 機關手ハ機關手ノ免狀ヲ有スルカ又ハ之ト等シキ學力經驗ヲ具備シ水火夫ハ相當ノ經驗アルモノ組頭及小頭ハ消防手ノ内ヨリ拔擢シ消防手ハ試験ノ上採用ス消防醫ハ適當ト認ムル者ニ囑托ス

第十五條 消防手ハ滿二十年以上三十五年以下ノ男子ニシテ其屯所ヨリ八丁以内ニ住居シニケ年以上勤務ニ故障ナキ者ニ限ル

第十六條 消防手志願者ハ別紙様式ニ據リ消防手ニアラスシテ身元確カナルモノヲ保證人トシ大阪市參事會ニ出願スヘシ

第十七條 機關手以下消防上拔群ノ功勞アルモノ又ハ特別勉勵ノ者ヘハ相當賞與スルコトアルヘシ

第十八條 機關手以下左ノ各項ニ該當スル所爲アルトキハ情狀ニヨリ呵責又ハ罰金ニ

處シ重キモノハ其職ヲ免ス 但第八項ニ該當スルモノハ相當代價ヲ賠償セシムルコトアルヘシ

- 一 指揮命令ニ従ハサル者
 - 二 職務ニ關シ私ニ金品ヲ受理シ其他不正ノ所爲アル者
 - 三 出火場ニ於テ私ニ進退シタル者
 - 四 出火場ニ於テ濫リニ家屋其他ノ物件ヲ破毀シタル者
 - 五 正當ノ事由ナク勤務ニ服セサル者
 - 六 出火場ニ於テ爭論其他喧噪ノ所爲アル者
 - 七 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
 - 八 故意若クハ怠慢ニヨリ器具服具等ヲ破毀又ハ紛失セシ者
 - 九 前數項ノ外或ハ勤務時間ヲ遅レ其他職務上爲スヘカラサル所爲アル者
- 第十九條 消防組ノ月給及手當并ニ服制ハ別紙第三號第四號表ニ據ル
- 第二十條 斧齋口等ハ輜重車ニ積載シ警察官ノ指揮アルニアラサレハ使用スルヲ得ス
- 第二十一條 消防組ニ支給スル手當金其他給與ニ關スル規則ハ別ニ定ムル所ニ據ル

消防手志願書

府下何區何町何番地住(寄留)

何府縣何郡市何町村何番地
身分戶主又ハ何某長次男

職 業 何 某

何年何月生

私義消防手志願ニ付御試験ノ上御採用相成度然ル上ハ二ヶ年未滿ニシテ退職ノ義
決テ申出間敷候間此段奉願候也

年 月 日

志願人 何 某印

右何某消防手志願ニ付御採用ノ上ハ全人一身上ハ勿論職務名義ヲ以テ負債等ヲ爲
シ本人ニ於テ辨償スルコト能ハサルトキハ私ニ於テ屹度辨理可仕候也

年 月 日

府下何區何町村何番地住(寄留)

何府縣何郡市何町村何番地

身分

保證人 何 某印

大阪市參事會宛

第一號

消防組定員及配置表

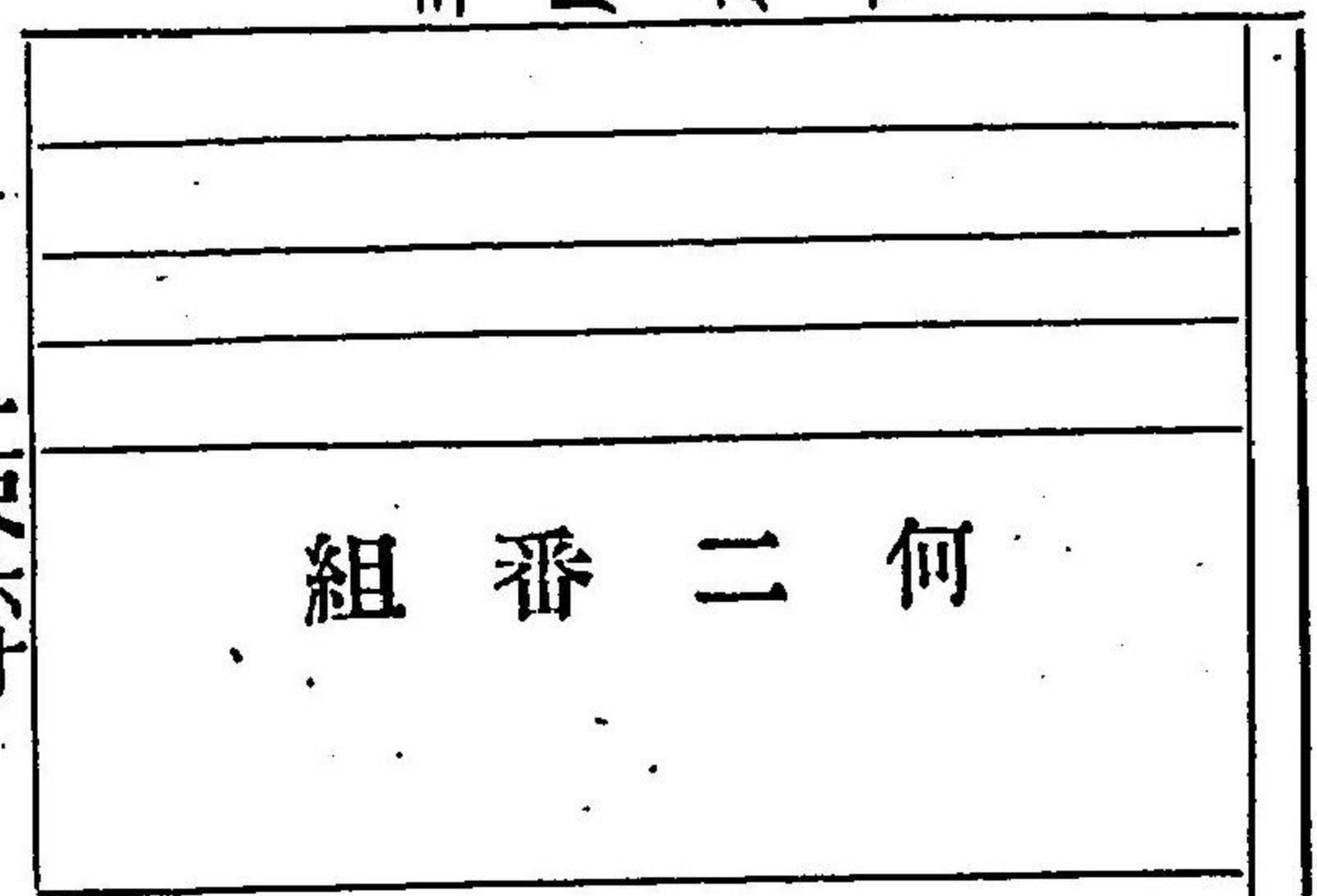
組 名	壹 番 組			貳 番 組			參 番 組			水 上 消 防 組			小 計	
	手 補	頭 組	頭 小	手 防	頭 組	頭 小	手 防	頭 組	頭 小	夫 夫	級 壹	級 貳		
東 消 防	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一〇〇
西 消 防	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一〇〇
南 消 防	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一〇〇
北 消 防	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一〇〇
水 上 消 防	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一〇〇
合 計	五	四	四	四	四	四	四	四	四	一	一	一	一	四一七

第二號

消防器械配置表

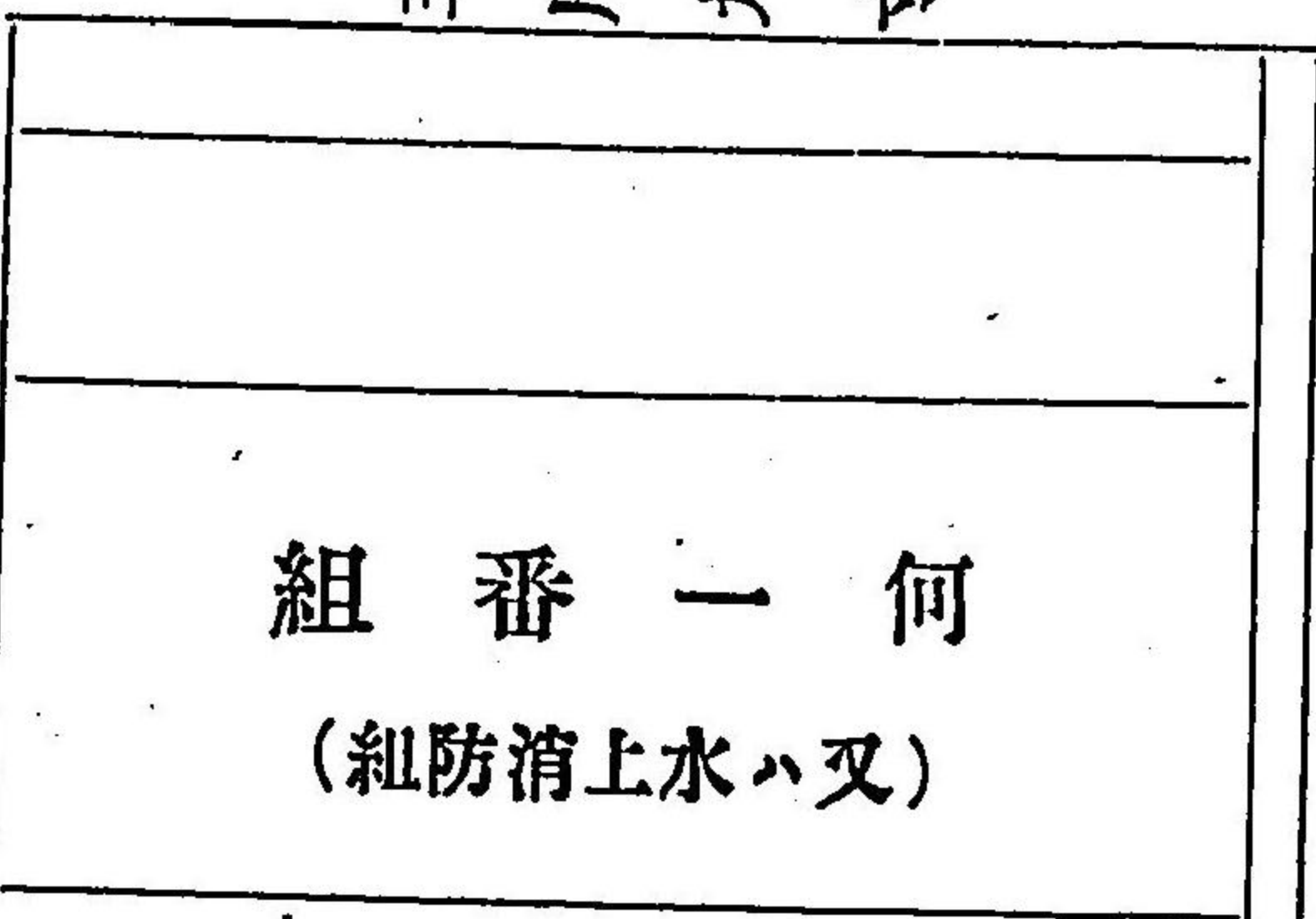
組 名	品 目	旗	筒 唧 瀧 蒸	筒 唧 瀧 蒸	筒 唧 用 腕	子 梯 竹	子 梯 折	口 籠	斧 手 付 劍	斧	鉤 大	網 大	ク ッ パ 大	車 重 繩	革 卷 管 水	叭 喇	灯 提 提 提	車 當 辨	計	
東 消 防	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一〇〇
西 消 防	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一〇〇
南 消 防	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一〇〇
北 消 防	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一〇〇
水 上 消 防	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一〇〇
合 計	五	四	四	四	四	四	四	四	四	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	四一七

三尺九寸

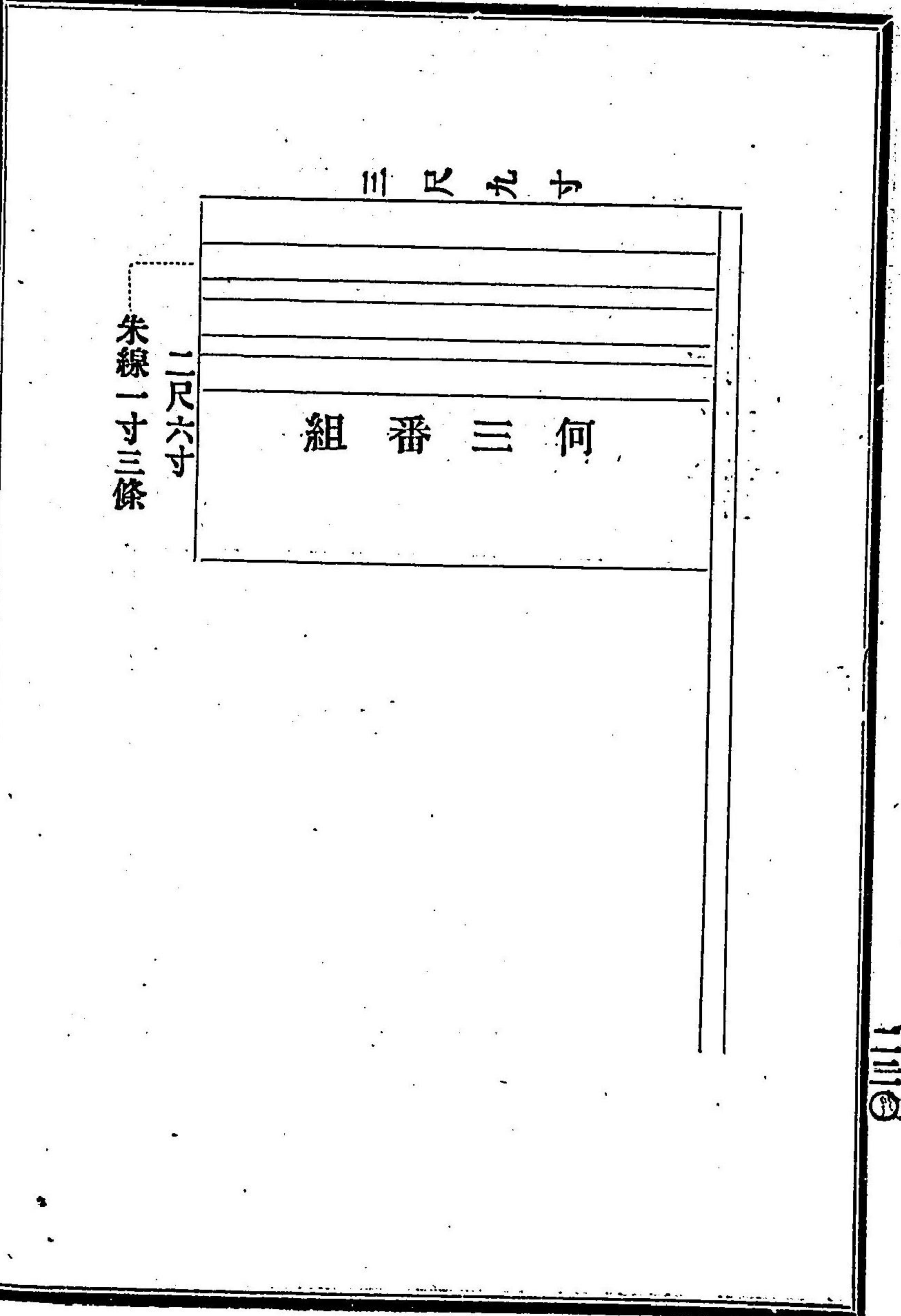
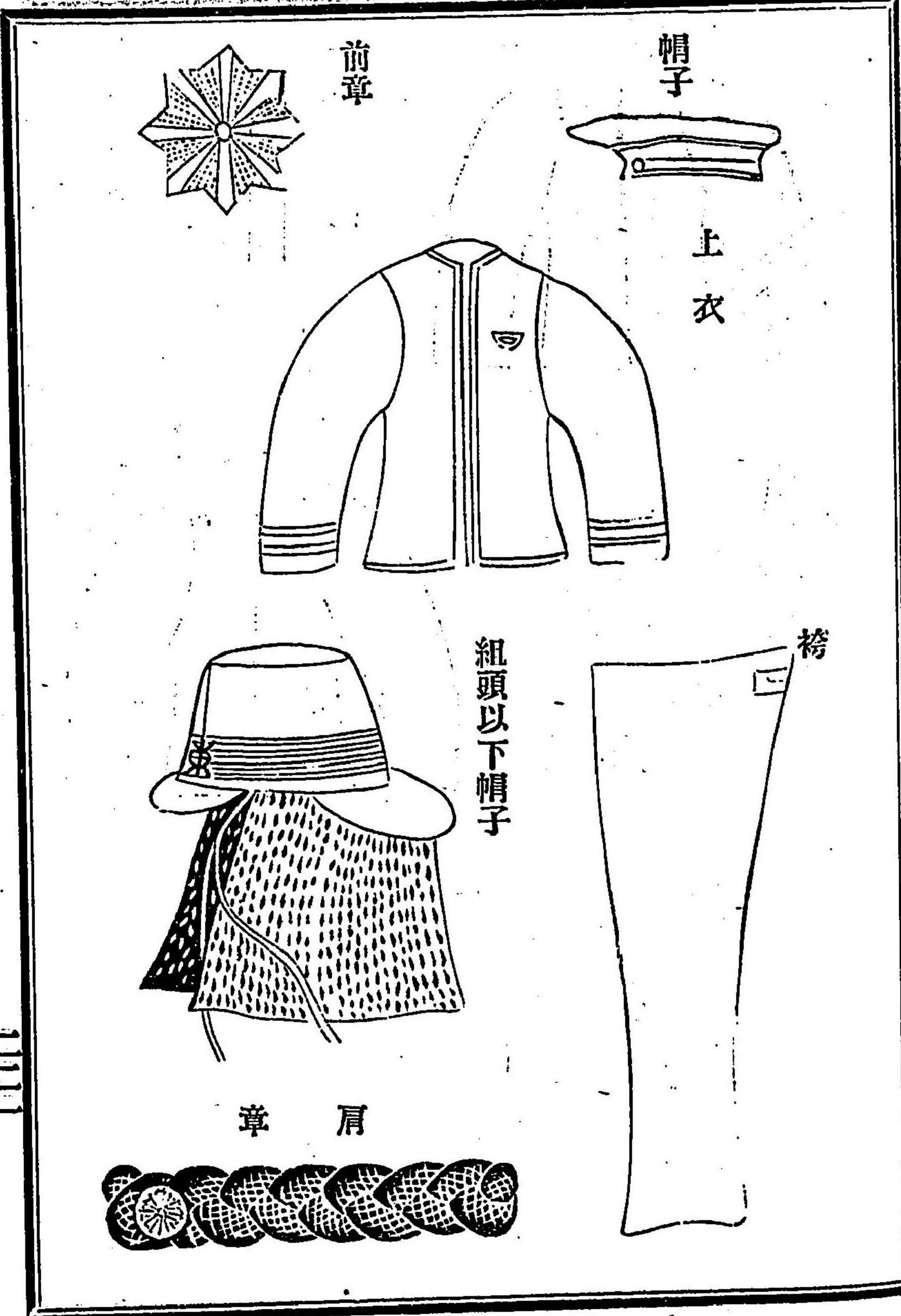


二尺六寸
朱線二寸二條

三尺九寸



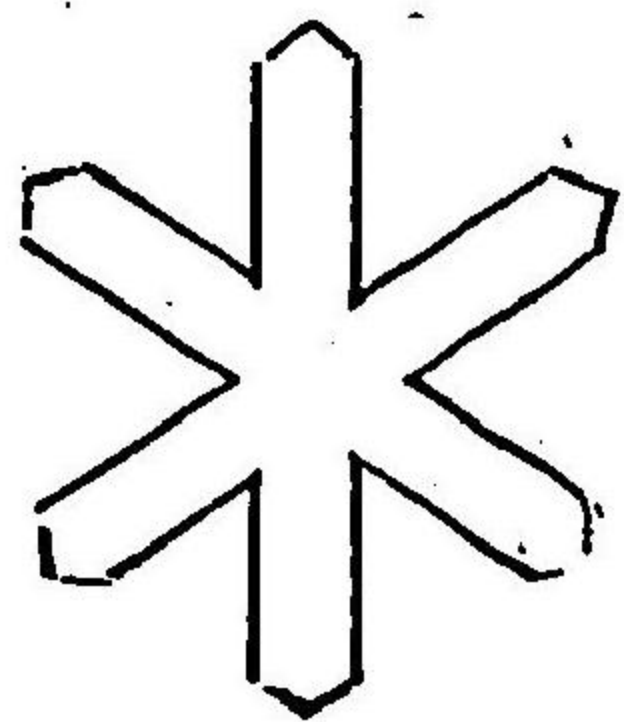
二尺六寸
朱線五寸一條



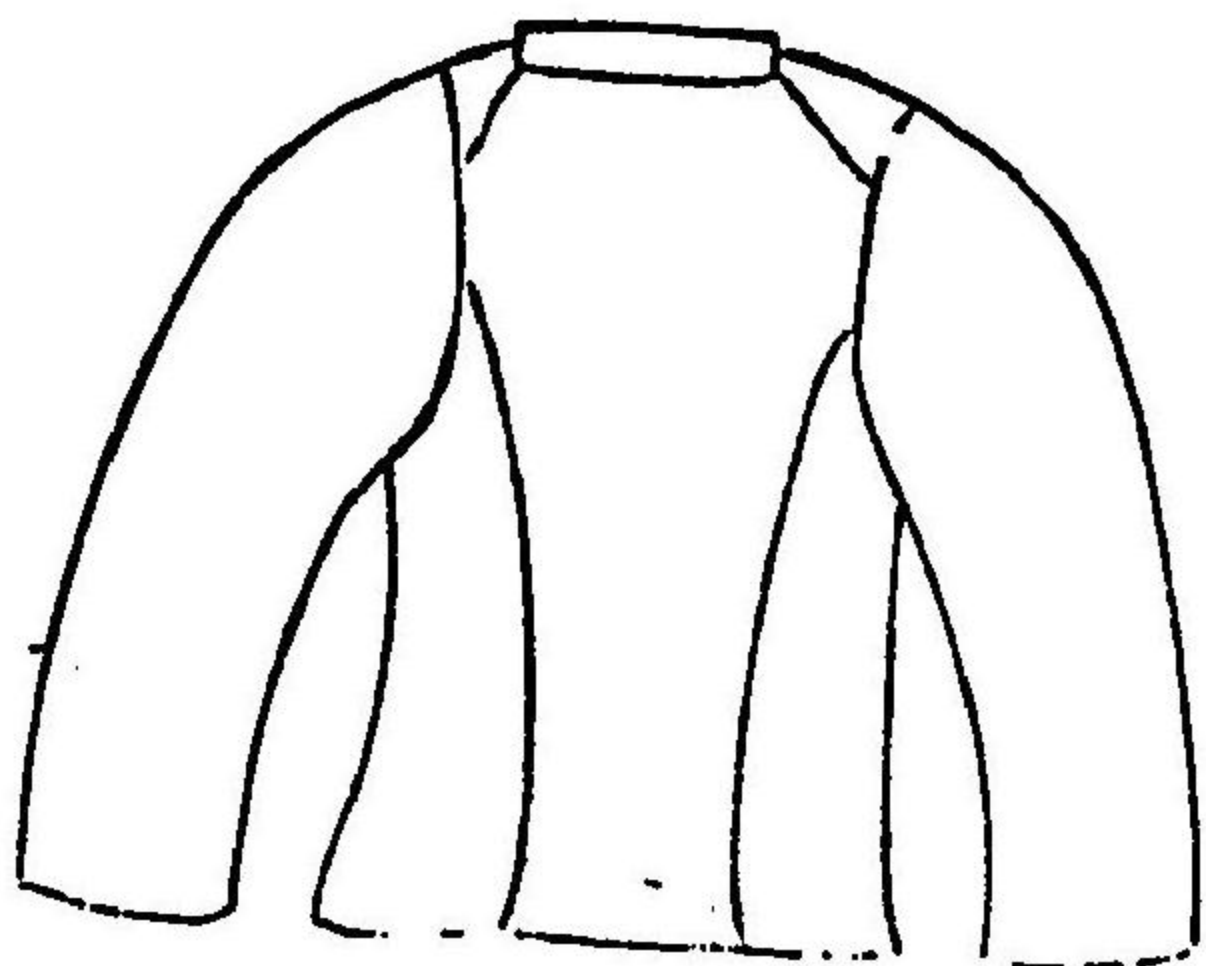
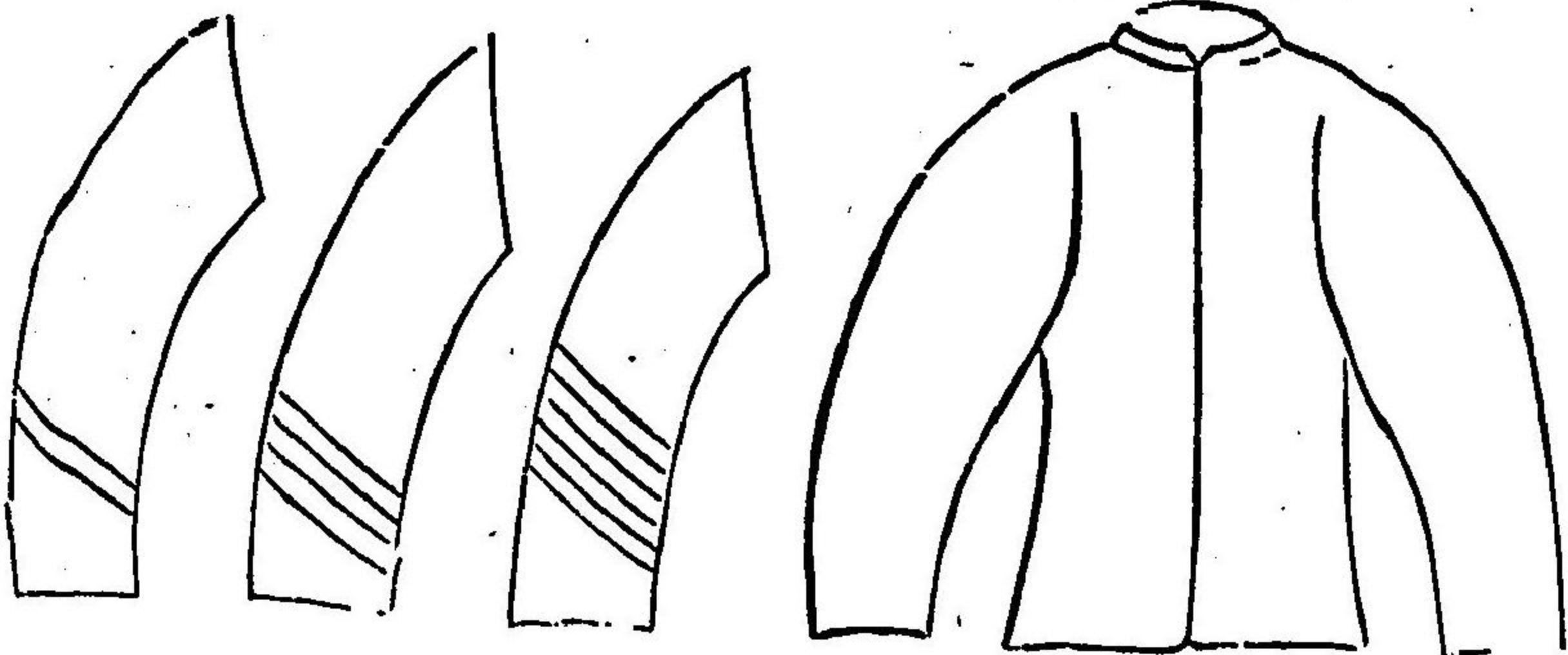
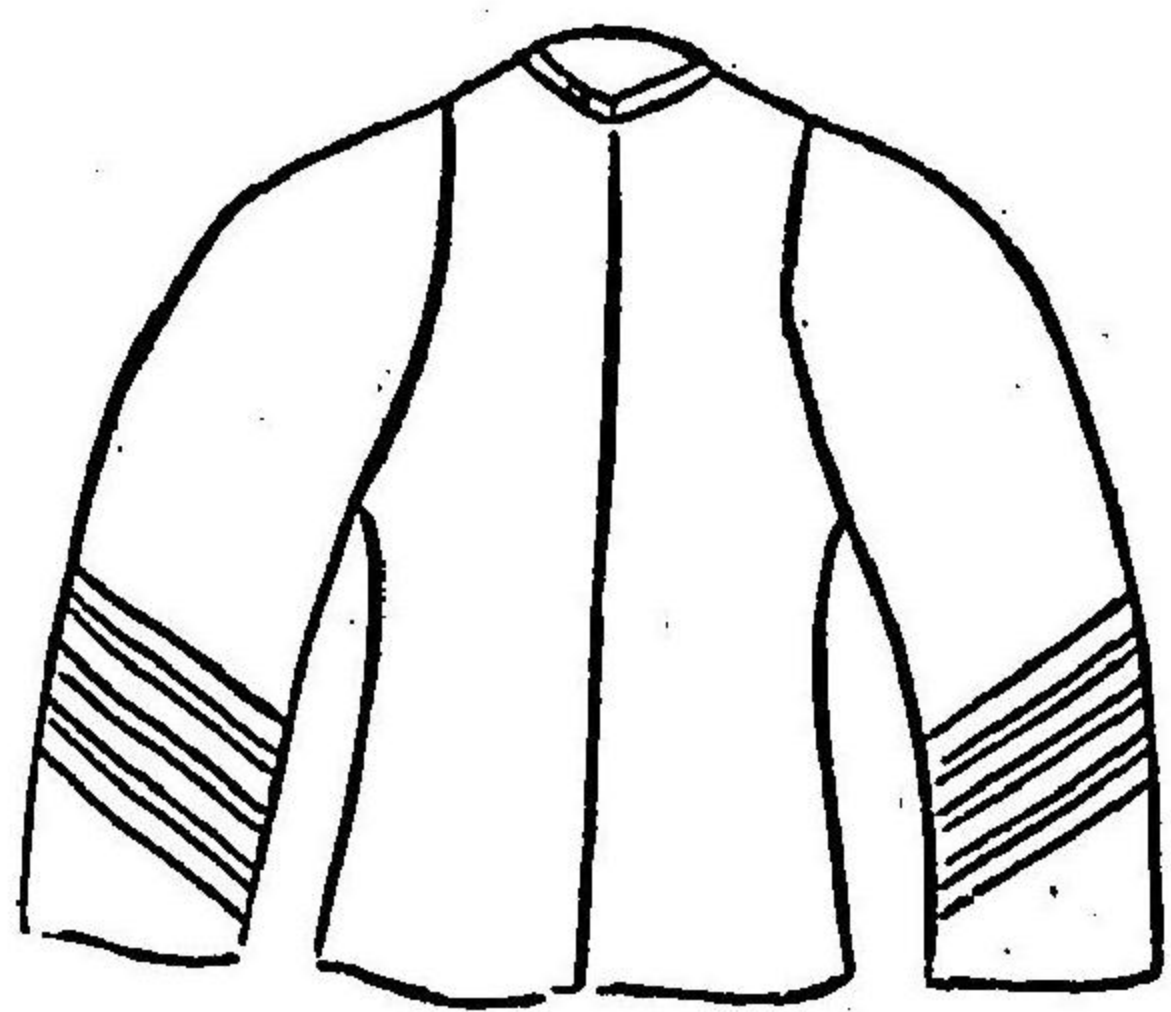
三三

三三

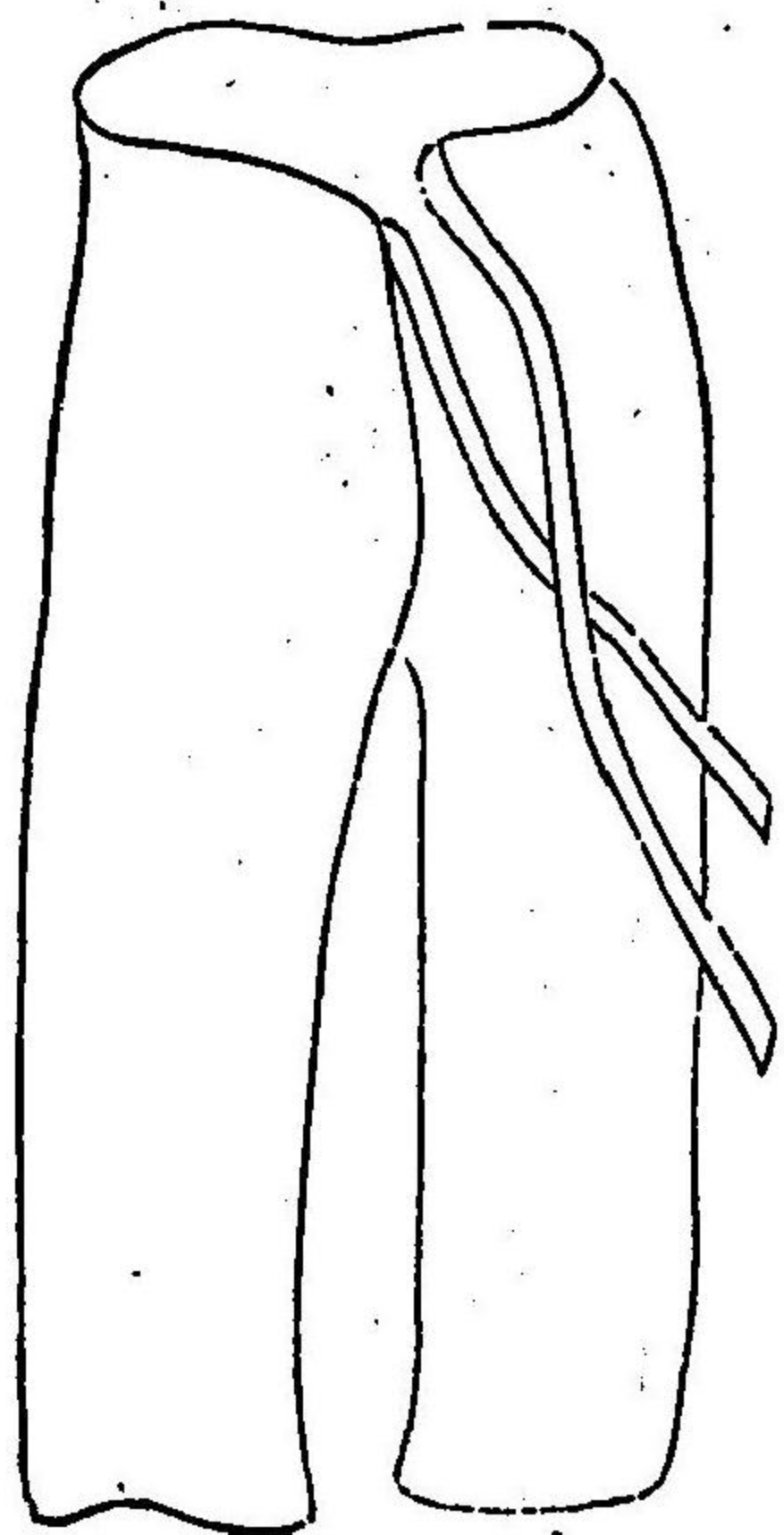
水火夫前章



衣上全



弓張提灯



○消防事務中委任 明治二十二年十一月二十日 廳達第六十二號

警察本部

大阪市消防事務中左ニ掲クルモノハ警察本部長之ヲ執行ス可シ

一消防組ノ指揮命令ニ關スル事

二機關手以下及消防醫ノ進退賞罰ニ關スル事 但賞與スヘキ金額ハ市參事會ノ議決ヲ經可キモノトス

其急施ヲ要スル場合ニ於テハ施行ノ後之ヲ報告ス可シ

三費額金三十拾圓未滿ノ需用品購入又ハ修繕ニ關スル事

○出火報告 明治二十二年十一月二十日 廳達第六十三號

警察本部

大阪市内ニ出火アルトキハ即報式ニ依リ畧圖ヲ製シ其官所轄警察署ヨリ市參事會ニ報告セシム可シ

給 與

○賞與規則 明治二十二年十月一日
大阪市告示第二十三號
本市會ノ議決ヲ經テ賞與規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

賞與規則

第一條 市參事會ハ毎年末市有給吏員及諸職員特別勤勞アル者ニ對シ給料一ヶ月以内ノ金額ヲ賞與スルコトヲ得

第二條 特別ノ事務ヲ負擔シ殊ニ勤勞アルモノハ前條ニ準シ臨時ニ賞與スルコトヲ得

○旅費規則 明治二十二年十月一日
大阪市告示第七號

本市會ノ議決ヲ經テ旅費規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

旅費規則

第一條 旅費ハ分テ五等トシ別表ニ依リ瀛車賃瀛船賃馬車賃及日當ヲ給ス 但學校長ニシテ委任待遇ノモノハ一等旅費ヲ給ス

第二條 船車馬ヲ供給シ若クハ其實費拂フ必要トスルトキハ本則ノ瀛車瀛船車馬賃ヲ給セス

第三條 瀛車賃ハ哩數瀛船賃ハ海里數車馬賃ハ里數日當ハ旅行又ハ滞在ノ日數ニ應シ之ヲ給ス
瀛車瀛船車馬賃ハ其種類毎ニ經過セシ路程ノ總數ヲ通算シテ之ヲ給ス 但一位未滿ノ端數ハ別捨トス

第四條 日當ハ陸路六里瀛車十哩瀛船十海里未滿ノ旅行ハ之ヲ給セス 但公務ノ都合ニヨリ宿泊ヲ要スルトキハ其泊數ニ應シテ之ヲ給ス

第五條 旅行ノ兩年度ニ跨ルモノハ毎年度之ヲ打切支給ス 但瀛車及瀛船賃ハ年度ニ拘ハラス瀛車瀛船ノ到達シタル日ヲ以テ之ヲ區分ス

第六條 旅行中許可ヲ得テ歸省其他私事ノ爲メ迂路ヲ通過スルモ其旅費ハ順路ノ路程ニ依ル
旅行中退職又ハ死亡シタルモノハ前職相當ノ額ヲ以テ舊在職地迄ノ旅費ヲ給ス

前兩項ノ場合ニ於テ日當ヲ支給スル爲メ其日數ヲ計算スルハ瀛車旅行ハ一日二百哩瀛船旅行ハ一日百海里陸路旅行ハ一日十二里詰トス距離接近シテ數種ノ旅行相跨ルトキハ各其路程十二分ノ一ヲ以テ一時間ノ行程トナシ一日ノ旅行十二時間トシ其日數ヲ計算ス 但十二時間ニ滿タカルモノハ一日ニ算入ス

第七條 新ニ任用スル爲メ召喚スルモノハ新任職相當ノ旅費ヲ給ス

旅 費 額

等級	區別	一哩每二	一海里每二	一哩每二	一日每二
一等	參事會員、委員、事務所長、事務長	六錢	六錢	拾五錢	壹圓六拾錢
二等	區長、學校長、教諭、副工事長、技師、事務長	五錢	六錢	拾貳錢	壹圓貳拾錢
三等	助教諭、技手、書記、事務員	四錢	五錢	拾錢	七拾錢
四等	助手、雇員	三錢	四錢	七錢	五拾錢
五等	使丁、職工	貳錢	三錢	四錢	三拾錢

○給料支給規則 明治二十二年十月一日
 大阪市告示第六號

本市會ノ議決ヲ經テ給料支給規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

給料支給規則

- 第一條 給料ハ每月下旬左ノ區分ニ依リ之ヲ給ス 但其期日ハ市參事會之ヲ定ム
 年給ハ其十二分ノ一
 月給ハ其月分
- 日給ハ前月二十一日ヨリ其月二十日迄ノ分
- 第二條 新任ハ職務ニ就キタル當日ヨリ轉任又ハ増給減給ハ發令ノ翌日ヨリ起算シ其

月分ハ日割ヲ以テ之ヲ給ス

退職解職又ハ死亡シタルモノハ其月分ノ給料全額ヲ給ス

第三條 退職又ハ解職ノ者事務引繼殘務取調ノ爲特ニ命ヲ承ケ公務ニ從事スルモ其間尙從前ノ給料ヲ給ス

第四條 願濟休暇旅行其他事故(自己ノ病氣ヲ除ク)ニ由リ執務セサルモノ日數三十日以後ハ日割ヲ以テ其給料ノ半額ヲ減ス

病氣引籠又ハ轉地療養ノ爲メ執務セサルモノ日數九十日以後ハ日割ヲ以テ其給料ノ半額ヲ減ス 但公務ノ爲負傷シ又ハ疾病ニ罹リタルモノハ此限ニ在ラス

第五條 日割計算法ハ其月ノ現日數ニ依ル

第六條 日給ハ執務ノ日數ニ依リ之ヲ給ス休日若クハ公務ノ爲メ負傷シ又ハ疾病ニ罹リタルモノハ執務セスト雖モ之ヲ給ス 但休日ハ其前日執務セシモノニアラサレハ之ヲ給セス

○給料支給期日 明治二十六年七月二十日
 大阪市訓令第一號

內務部 各課
 警察部 警務課
 水道敷設事務所
 區役所

商業學校
高等女學校
飲水試驗所

今般本市給料支給定日左ノ通相定ム
一年給及月給ハ毎月二十一日
一日給ハ毎月二十五日

○名譽職員實費辨償規則 明治二十二年十月一日
大阪市告示第五號
本市會ノ議決ヲ經テ名譽職員實費辨償規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

名譽職員實費辨償規則

第一條 名譽職員執務ノ日ニ對スル實費辨償額ハ市參事會員ハ一日金壹圓其他ハ一日金三拾錢トス 但文具ハ現品ヲ以テス
前項辨償ヲ要スルトキハ議員ハ每會之ヲ付與シ其他ハ毎月二十八日之ヲ付與ス 但休日ニ當ルハ順次繰上ケトス
第二條 公務ノ爲メ市外旅行ヲナストキハ旅費ヲ付與ス其額及付與ノ方法ハ旅費規則ノ定ムル所ニ據ル

○報酬支給規則 明治二十三年六月四日
大阪市告示第二十八號

本市會ノ議決ヲ經テ報酬支給規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

報酬支給規則

名譽職員報酬ハ給料支給規則ニ依リ支給スルモノトス

○報酬計算方 明治二十六年七月十一日
部乙第一八〇號
本市給料支給規則ニ依リ名譽職員ノ報酬ヲ支給セラル、場合ニ於テ同規則第一條就職ニ關スル區分ハ左ノ通り取扱相成可然存候參事會ノ決議ヲ經此段及御通達候也

內務部長

四區長宛

一名譽職員ハ當選告知ヲ受ケタル日ヲ以テ就職ノ日トシ報酬ヲ支給スルモノトス 但五日以内ニ當選ヲ辭シタルモノニシテ就職ノ事實ナキモノハ支給スルノ限ニアラス

○傳染病感染及死亡者手當給與規則 明治二十三年八月二十七日
大阪市告示第四十二號

本市會ノ議決ヲ經テ傳染病感染及死亡者手當規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

傳染病感染及死亡者手當給與規則

第一條 凡傳染病アル節豫防救治ノ方法ヲ施行スル爲メ市吏員及市費ヲ以テ傭使スル醫員藥劑手書記小使看護人其他人足等該病毒ニ感染又ハ死亡スルモノアルトキハ此規則ニ依リ手當金ヲ支給ス

第二條 手當金ヲ分テ療治料埋葬料遺族扶助料ノ三種トシ病者ハ療治料死者ハ埋葬料

及遺族扶助料ヲ支給ス

第三條 手當金ハ其月給ノ多寡ニ因リ左表ノ等級ニ應シテ支給スヘシ 但年給ノ者ハ其十二分ノ一日給ノ者ハ一ヶ月ヲ三十日ト見做シ之ニ乗シタル金額ヲ以テ本條ノ等差ニ準ス

等級	月俸額	療治料	埋葬料	遺族扶助料
一等	百圓以上	一日ニ付壹圓	三十圓	百五十圓
二等	七拾圓以上	全	三十圓	百貳拾五圓
三等	五拾圓以上	全	貳拾五圓	百圓
四等	貳拾圓以上	全	貳拾圓	八拾圓
五等	拾圓以上	全	拾五圓	六拾圓
六等	拾圓未滿	全	拾圓	四拾圓

第四條 療治料ハ自宅ニ於テ治療スルモノニ給シ其避病院ニ入ルモノハ支給セズ

第五條 埋葬料ハ遺族ニ支給ス若シ獨身ニシテ親戚ナキモノハ其同僚又ハ區長ニ之ヲ下付シ埋葬費ニ充テシムルモノトス

第六條 遺族扶助料ハ戶主ニシテ家族ナキ者及非戶主ニシテ妻子ナキ者ハ支給セズ其死者非戶主ニシテ妻子ナキ者ト雖モ從來死者ニ依リ生計ヲ立タル遺族アルモノアルトキハ之レヲ支給ス

○有給吏員諸職員退職者及死亡者一時給與金規則 明治二十三年三月十三日 大阪市告示第七號
本市會ノ議決ヲ經テ有給吏員諸職員退職者及死亡者一時給與金規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

有給吏員諸職員退職者及死亡者一時給與金規則

第一條 有給吏員及諸職員滿五年以上在職ノ者十一年未滿ニシテ退職セシ時ハ年給ハ現給十二分ノ三月給ハ現給三ヶ月分滿十一年以上ニシテ退職セシ時ハ年給ハ現給十二分ノ四月給ハ現給四ヶ月分ヲ給ス 但自己ノ便宜ニ依リ退職セシ者過失ニ依リ論旨退職若クハ免職セシ者ハ之ヲ給セス
第二條 有給吏員諸職員年給及月給ノ者在職中死亡シタルトキハ年給ハ現給十二分ノ三月給ハ現給三ヶ月分ヲ其遺族ニ給ス

○學校職員退職者及死亡者一時給與金規則 明治二十三年三月十三日 大阪市告示第八號
本市會ノ議決ヲ經テ學校職員退職者及死亡者一時給與金規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

學校職員退職者及死亡者一時給與金規則

第一條 學校職員滿五年以上在職ノ者十一年未滿ニシテ退職セシ時ハ年給ハ現給十二分ノ二月給ハ現給二ヶ月分滿十一年以上ニシテ退職セシ時ハ年給ハ現給十二分ノ三月給ハ現給三ヶ月分ヲ給ス 但自己ノ便宜ニ依リ退職セシ者過失ニ依リ諭旨退職若クハ免職ノ者ハ之ヲ給セス

第二條 學校職員年給及月給ノ者在職中死亡シタルトキハ年給ハ現給十二分ノ二月給ハ現給二ヶ月分ヲ其遺族ニ給ス

第三條 本則ハ小學校教員ニ適用セス

○消防組金品給與規則 明治二十六年三月三十一日 大阪市告示第十一號

明治二十二年^十月^十日 大阪市告示第十三號 消防組金品給與規則左ノ通改正來ル四月一日ヨリ施行ス

消防組金品給與規則

第一條 機關手機關手補及水火夫消防醫月給支給方ハ市ノ有給吏員給料支給規則ニ準據ス
第二條 組頭以下ノ月給又ハ手當ハ毎月二十六日ヲ支給ノ定日トス其雇入解雇若クハ死亡ノ當月ハ十五日以前十六日以後ヲ區分シ全額又ハ半額ヲ支給ス

組頭以下ノ昇給減給ハ辭令發付ノ翌日ヨリ起算シ日割ヲ以テ新令ノ月給又ハ手當ヲ支給ス

第三條 常備組頭以下私事ノ故障(自己ノ病氣ヲ除ク)ニヨリ出務セサルモノ日數三十日以後ハ日割ヲ以テ月給ノ半額ヲ減ス病氣引籠又ハ轉地療養ノ爲メ出務セサルモノ日數九十日以後ハ日割ヲ以テ月給ノ半額ヲ減ス 但職務ノ爲負傷シ又ハ疾病ニ罹リタルモノハ此ノ限リニ非ス

第四條 豫備組頭以下夜詰ヲナシタルキハ手當トシテ一人金拾錢ヲ給ス

第五條 豫備組頭以下消防ニ從事セシキハ左ノ出火手當ヲ給ス 但消防ニ從事セスト雖^レ出火ノ爲メニ消防屯所又ハ現場ニ出張セシモノハ其半額ヲ給ス

- 一 組頭 金貳拾錢
- 一 小頭 金拾五錢
- 一 壹級消防手 金拾錢
- 一 貳級消防手 金八錢

第六條 機關手以下職務上死傷シタルモノハ左ノ例ニヨリ手當ヲ給ス 但傷痕引日手當ハ治療中營業シ能ハサルモノニ限リ之レヲ給ス 癩疾扶助料ヲ給シタルトキハ療治料藥價繙帶等諸費及傷痕引日手當ハ其前日限リ之レヲ給セス

- 一 吊祭料 金貳拾圓
- 一 遺族扶助料 金六拾圓
- 一 癱疾扶助料 金貳拾圓以上五拾圓以下
- 一 療治料 實費
- 一 藥品綑帶等諸費 實費
- 一 傷痕引日手當 一日金貳拾錢
- 一 實費
- 一 重傷ヲ負ヒ病院へ入院中食料 一日金拾七錢
- 一 實費
- 第七條 豫備組頭以下例月又ハ出火後唧筒掃除ニ從事セシキハ手當トシテ一人一日金貳拾錢ヲ給ス
- 第八條 機關手以下ニハ左ニ掲クル服具ヲ貸與ス其使用并ニ保存期限左ノ如シ 但草鞋ハ出火毎ニ一足金壹錢ノ割合ヲ以テ代料ヲ給ス
- 前項ノ期限ハ月ヲ以テ計算シ貸與ノ月ハ其初日ト末日トニ拘ハラズ一ヶ月ニ算入シ滿期ノ月ハ末日ニ至ラサレハ一ヶ月ニ算入セス
- 一 機關手以下被服 一着 使用并ニ保存期限各一ケ年
- 一 組頭以下手袋 一組 使用期限一ケ年
- 一 機關手機關手補水火夫帽 一個 全

- 一 組頭以下帽 一個 全 三ケ年
- 一 機關手以下帽章 一個 無期限
- 一 組頭以下帽鍔 一枚 使用期限三ケ年
- 一 常備組頭以下靴 一足 全 一ケ年
- 第九條 職務上服具ヲ毀損シ又ハ亡失シタルモノハ之レヲ修補シ若クハ新ニ之レヲ貸與ス
- 第十條 服具ノ使用又ハ保存期限ヲ經過シタルモノハ帽章ヲ除ク外之レヲ給ス 但勤續二ケ年ニ滿タサルモノハ之レヲ返納セシム
- 第十一條 自己ノ過失ニ因リ使用期限中ノ服具ヲ毀損シ又ハ亡失シタルモノハ使用殘期限ニ應シ左ノ區別ニヨリ賠償セシメ修補シ得ヘキモノハ其修補料ノ全部ヲ賠償セシム
- 其保存期限中ニ係ルモノハ使用殘期間ノ一ヶ月分無期限ニ係ルモノハ其全額ヲ賠償セシム
- 一 機關手被服上衣 (使用殘期間一ヶ月分) 金貳拾五錢
- 一 全袴 全 金拾六錢五厘
- 一 機關手補以下被服上衣 全 金拾錢
- 一 全袴 全 金六錢五厘

- 一組頭以下手袋 全 金貳錢五厘
 - 一機關手機關手補水火夫帽 全 金六錢
 - 一組頭以下帽 全 金貳錢
 - 一組頭以下帽鏡 全 金壹錢
 - 一常備組頭以下靴 全 金八錢
 - 一機關手以下帽章 無期限 金五錢
- 第十二條 機關手以下消防ニ從事スルモノ、賄料ハ出火ヨリ消防屯所へ販着迄ノ時間一時間以上三時間以内ハ金三錢五厘其以上六時間以内ハ金七錢ヲ給ス以上三時間宛ヲ加フル毎ニ金三錢五厘ヲ増給ス 但時宜ニヨリ現品ヲ以テ給與スルコトアルヘシ
- 第十三條 機關手以下(豫備組頭以下ヲ除ク)當番ノモノニハ辨當料ニ食分金五錢ヲ支給ス當番ノ消防ニ從事セシキハ尙ホ前條ノ賄料ヲ併給ス
- 臨時ニ宿直セシキハ當番ノ例ニ準シ辨當料ヲ給ス
- 第十四條 豫備組頭以下消防演習ニ從事シタル當日ハ賄料トシテ金三錢五厘ヲ給ス
- 第十五條 機關手以下ノ歳首出初式執行ノキハ酒肴料トシテ一人金拾錢ヲ給ス 但時宜ニヨリ現品ヲ以テ給スルコトアルヘシ
- 文具給與規定明治二十五年三月二十四日 大阪市告示第十二號

本市會ノ議決ヲ經テ明治二十二年大阪市告示第八號文具支給規則本月三十一日限廢止ス 但特別ノ文具ヲ要スルトキハ其課係等ノ備トシテ使用セシムルコトヲ得

○課係備付文具品種明治二十五年三月三十日 大阪市訓令第一一四號

内務部各課

今般大阪市告示第十二號ヲ以テ明治二十二年大阪市告示第八號廢止ニ付テハ其但書ニ依リ左記ノ品種ハ特別ノ文具トシ其課係ノ備トシ使用セシムヘシ

- 一給ノ具
- 一簿記用ペン軸、ペン先、インキ
- 一コンニヤク版用インキ

○賄料規定明治二十五年三月二十四日 大阪市告示第十三號

本市會ノ議決ヲ經テ明治二十二年大阪市告示第九號賄料支給規則本月三十一日限廢止ス 但非常又ハ事變ニ際シ徹夜勤務ノモノ及使丁ノ宿直ニ限り現品又ハ代料ヲ支給スルコトヲ得

○賄料代料價格明治二十五年三月二十九日 大阪市訓令第一一〇號

内務部各課

今般大阪市告示第十三號ヲ以テ明治二十二年大阪市告示第九號廢止ニ付テハ其但書ニ依リ代料ヲ給スル場合ハ左ノ金額ヲ支給スヘシ

- 一 非常又ハ事變ニ際シ徹夜勤務ノモノ 一人金拾錢五厘
- 一 同上使丁 一人金七錢五厘
- 一 使丁宿直 一人金五 錢

會計財產

○歲入歲出々納規則 明治二十二年十月一日 大阪市告示第十號

大阪市歲入歲出々納規則市會ノ議決ヲ經テ左ノ通相定ム

大阪市歲入歲出々納規則

- 第一條 此規則ニ掲クル歲入又ハ歲出トハ毎年定ムル所ノ豫算ニ依リ收入又ハ支出スルモノヲ云フ
- 第二條 此規則ニ掲クル納人トハ歲入金ヲ納ムヘキモノ受取人トハ歲出金ノ支拂ヲ受クヘキモノヲ云フ
- 第三條 此規則ニ掲クル市税金取扱人トハ府廳並區役所ニ屬スル現金取扱人ヲ云フ
- 第四條 歲入歲出ニ係ル記簿ハ複記式ニ依ルヘシ
- 第五條 一會計年度ニ屬スル歲入歲出ノ出納ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一

日ニ終ル

- 第六條 市費ノ前渡ヲ要スルキハ出納開始前ト雖モ特ニ支出ヲ爲スヲ得
- 第七條 會計年度内ニ於テ收入支出ノ結了セサルモノハ整理ノ爲メ翌年度五月十五日迄其收支ヲ爲シ市税金取扱人ニ於テハ同月廿五日迄其仕拂ヲ爲スヲ得
- 前項整理期限後ニ係ル收入支出ハ現年度ノ歲入歲出トナスヘシ
- 第八條 歲入歲出ハ毎年府知事ニ於テ其豫算表ノ謄本ヲ製シ府廳第四課長又ハ區長ニ交付スヘシ 但臨時追加ノ場合ニ於テモ亦全シ
- 第九條 歲入ノ區長分掌ニ屬スルモノハ區長其他ハ市參事會ニ於テ納人ニ對シ賦課令狀ヲ發スヘシ
- 前項ノ令狀ニ依リ徵收スル歲入ハ府廳第四課長又ハ區長ニ於テ收入スヘシ
- 第十條 區長ニ於テ收入シタル金員ハ毎旬日之ヲ計算シ府廳第四課長ニ納付スヘシ
- 一時多額ノ金員ヲ收入シ又ハ市税金取扱人ノ抵當額ニ超過スル金員ヲ收入シタルキハ即日之ヲ納付スヘシ
- 第十一條 歲入歲出ニ係ル現金ハ市税金取扱人ヲシテ領收又ハ仕拂ヲ爲サシムヘシ 但公賣處分ニ依リ收入スル金員又ハ臨時ノ收入金ニシテ不得止場合ハ府廳第四課長又ハ區長ニ於テ其現金ヲ收入スルヲ得
- 第十二條 納人中定期内ニ納金セサルモノアルキ區長ノ分掌ニ屬スルモノハ區長ニ於

テ區長ノ分掌ニ屬セサルモノハ府廳第四課長ノ報告ニ依リ市參事會ニ於テ之ヲ督促シ七日以内ニ完納セサルハ二十一日以内ニ之ヲ處分スヘシ 但區長ニ於テ處分シタルモノハ五日以内ニ市參事會ニ報告スヘシ

第十三條 區長ハ納人中無資力ニシテ納金延期ヲ請フ者アルハ其事實ヲ具シ市參事會ノ指揮ヲ請フヘシ

第十四條 納人中其義務消滅又ハ變更等ノ爲メ既ニ收入シタル金員ノ割戻シ若クハ過誤納金ノ還付ヲ請求スルモノアルハ區長ノ分掌ニ屬スルモノハ區長ニ於テ之ヲ還付シ其年度收入金完納後ハ市參事會ニ請求スヘシ 前項區長ノ分掌ニ屬セサルモノハ市參事會ノ命令ニ依リ府廳第四課長ニ於テ之ヲ還付スヘシ

第十五條 歳出ノ區長分掌ニ屬スルモノハ區長ニ於テ其他ハ市參事會ノ命令ニ依リ府廳第四課長ニ於テ支拂切符ヲ以テ受取人ニ交付シ其現金ハ市税金取扱人ヲシテ仕拂ハシムヘシ

第十六條 區長ノ分掌ニ屬スル支出ハ毎年豫算決定ノ後區長ニ於テ其月額ヲ豫定シ市參事會ニ請求スヘシ

第十七條 支出金ヲ他ヘ送達セントスルトキハ府廳第四課長又ハ區長ハ仕拂切符ヲ市税金取扱人ニ發シ送金手形ト交換セシムヘシ

第十八條 歳出ノ誤拂又ハ過渡ヲ發見シタルトキハ市參事會又ハ區長ニ於テ返納告知書ヲ發スヘシ 但市參事會ニ於テ告知書ヲ發シタルハ之ト同時ニ府廳第四課長ヘ戻入ノ命令ヲ爲スヘシ

第十九條 區長ニ於テ毎月收入又ハ支出シタル金員ハ精算書ヲ製シ翌月五日迄ニ毎年度收入又ハ支出シタル金員ハ決算表ヲ製シ翌年度五月三十日迄ニ府廳第四課長ニ送付スヘシ 但支出ノ決算表ニハ領收證書ヲ添付スヘシ

府廳第四課長ハ其分掌ニ屬スル收入支出ト前項區長ヨリ送付シタル決算金額ヲ合シ總決算表ヲ製シ證書類取纏メ六月三十日迄ニ市參事會ニ提出スヘシ

第二十條 此規則ニ掲クル賦課令狀返納告知書請求書命令書仕拂切符精算書決算表等ノ様式ハ市參事會之ヲ定ムヘシ

○歳入出々納順序 明治二十二年十月一日 大阪市訓令第七號

區 役 所

大阪市歳入出々納順序左ノ通相定ム

大阪市歳入出々納順序

第一條 府廳第四課長又ハ區長ハ毎年度歳入歳出豫算表ニ依リ之ヲ簿冊ニ掲記シ其收入支出ハ命令書又ハ憑書ニ依リ記簿計算スルモノトス

第二條 市參事會又ハ區長ハ規則第九條ニ依リ歳入ヲ徵收スルトキハ其納期アルモノト納期ナキモノトヲ區分シ其納期ナキモノハ臨時之カ收入ノ命令書若クハ收入ヲ爲シ其納期アルモノハ毎納期前十五日ヲ

限リ第一號様式ノ賦課令狀ヲ發シ納人ヲシテ之ニ現金ヲ添ヘ市税金取扱人ニ納付セシムルモノトス
 但新規開業又ハ月税上リ高税廢舊稅等ハ其時々之ヲ發ス
 市參事會ニ於テ前項ノ令狀ヲ發シタルトキハ之ト同時ニ府廳第四課長ニ其收入ノ命令ヲナスモノトス
 第三條 賦課令狀若クハ告知書ヲ發セシテ收入スヘキ歳入ハ市參事會ニ於テ隨時之カ明細書ヲ製シ府
 廳第四課長又ハ區長ニ收入ノ命令ヲ發スルモノトス
 前項ニ依リ收入シタル現金ハ府廳第四課長又ハ區長ニ於テ市税金取扱人ニ領收セシメ其預リ證書ヲ徵
 シ別ニ領收證書ヲ納人ニ交付スルモノトス
 第四條 府廳第四課長又ハ區長ハ收入金ニ對シ市税金取扱人ヨリ賦課令狀ノ乙切符又ハ返納正書納付正
 書及預リ證書ヲ領收シタルトキハ第二號様式ノ收入憑書ニ依リ之ヲ收入シ毎日其合計金額ヲ金錢預
 帳ニ登記シ市税金取扱人ノ金錢預リ帳ト別印シテ之ヲ交換スルモノトス
 第五條 區長ハ規則第十條ニ依リ領收シタル收入金ヲ納付スルトキハ第三號様式ノ仕譯書ヲ添付スル
 ノトス
 第六條 府廳第四課長ハ定期及臨時收入金ノ納付ヲ受ルトキハ第二號様式ノ收入憑書ニ依リ之ヲ收入シ
 納人ニ對シ其領收證書ヲ發シ第四條末段ノ手續ヲ爲スモノトス
 第七條 區長ニ於テ規則第十二條ニ依リ公賣處分ヲナシ收入金ヲ徵收シタルトキハ第四號様式ノ納付書
 ニ現金ヲ添ヘ市税金取扱人ニ送付シ別ニ領收證書ヲ納人ニ交付シ市參事會ニ於テハ其時々區長ニ於テ
 ハ毎月末第五號様式ニ依リ府廳第四課長ニ通知スルモノトス
 第八條 區長ハ規則第十四條ニ依リ完納金ノ下戻ヲ要スルトキハ第六號様式ニ依リ市參事會ニ請求スル
 モノトス
 市參事會ハ前項ノ請求ニ依リ命令書ヲ發シ府廳第四課長ヲシテ之ヲ還付セシムルモノトス

第九條 區長ハ毎月精算ノ後科目ノ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ第七號様式ニ依リ府廳第四課長ニ
 報告スルモノトス
 第十條 區長ハ規則第十九條ニ依リ毎月收入シタル金員ハ第八號様式ノ精算書毎年度收入シタル金員ハ
 明治二十二年內務省令第二號豫算表ノ様式ニ準シ決算表ヲ送付スルモノトス
 第十一條 區長ハ規則第十六條ニ依リ第九號様式ノ請求書ヲ前月二十五日迄ニ市參事會ニ送達スルモノ
 トス
 第十二條 規則第十五條ニ依リ市參事會ニ於テ支出ヲナストキハ第十號様式ノ命令書ヲ發シ府廳第四課
 長ヲシテ第十二號様式ノ仕拂切符ヲ發セシムルモノトス
 區長ニ於テ支出ヲナストキハ第十一號様式ノ憑書ヲ製シ之ニ依リ第十二號様式ノ仕拂切符ヲ發スル
 ノトス
 第十三條 前條仕拂切符ハ其元帳及ロ案内書ニ科目番號年月日金員所屬年度受取人姓名事由等式ノ如ク
 記載シ接續ノ所ニ別印シ仕拂切符及案内書ニ記名捺印ノ上之ヲ綴斷シ案内書ハ市税金取扱人ニ送付
 シ仕拂切符ハ受取人ニ交付シ其領收證書ヲ徵スルモノトス
 第十四條 府廳第四課長又ハ區長ニ於テ毎日支出シタル金額ハ金錢受取帳ニ記載シ市税金取扱人ノ金錢
 上納帳ト別印シテ之ヲ交換スルモノトス
 第十五條 府廳第四課長又ハ區長ハ市税金取扱人ヨリ仕拂切符ノ様式ニ違ヒ又ハ案内書ト符合セサル通
 知ヲ受タルトキハ相當ノ處分ヲナスモノトス
 第十六條 受取人仕拂切符ヲ亡失シタルトキ府廳第四課長又ハ區長ニ於テ其番號年月日金額事由及其寫
 所日時ヲ明記シタル書面ヲ徵シ即時市税金取扱人ニ通知シ其仕拂ヲ止メ其仕拂期限經過後更ニ交付ノ
 請求ヲ爲サシムルモノトス

前項亡失ニ係ル仕拂切符ヲ以テ現金ノ交換ヲ請フモノアルトキ市税金取扱人ハ直ニ府廳第四課長又ハ區長ニ通報スルモノトス

第十七條 仕拂切符ノ期限ヲ經過シタルモノアルトキハ府廳第四課長又ハ區長ハ理由書ヲ徴シ其期限ヲ訂正交付スルモノトス其場合ニ於テハ切符元帳及案内書ヲモ訂正シ其案内書ハ市税金取扱人ニ送付スルモノトス

第十八條 區長ハ規則第十九條ニ依リ毎月支出シタル金員ハ第十三號様式ノ精算書毎年度支出シタル金員ハ明治二十二年内務省令第二號豫算表ノ様式ニ準シ決算表ヲ送付スルモノトス 但決算表ニ添付スル領收證書ハ各科目ニ區分編製スルモノトス

第十九條 區長ハ毎年度經費ノ決算ヲナシ剩餘アルトキハ第十五號様式ニ依リ返納スルモノトス

第二十條 規則第十八條ニ依リ歳出金ノ返納ヲ要スルトキハ第十六號様式ノ返納元帳及返納告知書並ニ正副返納書ニ支出科目事由等ヲ記入シ元帳ト告知書ト接続ノ處ニ割印截斷シ返納人ニ交付シ之ニ現金ヲ添ヘ市税金取扱人ニ納付セシムルモノトス

前項納付ノ後市税金取扱人ヨリ返納正書ヲ送付シタルトキ府廳第四課長又ハ區長ハ第二號様式ノ收入證書ニ依リ之ヲ收入スルモノトス

第二十一條 規則第十九條ニ依リ府廳第四課長ヨリ提出スヘキ決算表ハ明治二十二年内務省令第二號豫算表ノ様式ニ準スルモノトス

第二十二條 市税金取扱人ハ納人ヨリ賦課令狀又ハ告知書納付書ニ現金ヲ添ヘ納付シタルトキハ第一號第十六號第四號様式ノ如ク記入捺印シ截斷ノ上納人ニ返付スルモノトス

第二十三條 市税金取扱人ニ於テ收入金ヲ領收シタルトキハ毎日其乙切符返納正書又ハ納付正書ヲ一括シ合計箋(金高及枚數)ヲ付シ府廳第四課長又ハ區長ヨリ領收シタル金券アルトキハ之ト合計シ其合計

金額ヲ金錢預リ帳ニ登記シ乙切符返納正書納付正書ト共ニ府廳第四課長又ハ區長ニ差出シ金錢預リ帳ト割印ヲ受ケ之ト交換スルモノトス

第二十四條 市税金取扱人ハ受取人ニ現金ノ仕拂ヲ爲シタルトキハ其仕拂切符及案内書ノ表面ニ仕拂済ノ印ヲ捺シ支拂切符ニ合計箋(金高及枚數)ヲ付シ即日其合計金額ヲ金錢上納帳ニ記載シ之ト共ニ府廳

第四課長又ハ區長ニ差出シ金錢受取帳ト割印ヲ受ケ之ト交換スルモノトス

第二十五條 市税金取扱人ハ仕拂切符ノ期限ヲ經過シタル案内書ハ翌日之ヲ府廳第四課長又ハ區長ヘ返付スルモノトス

第二十六條 市税金取扱人ハ支拂切符亡失ノ爲メ仕拂ノ停止ヲ受タルトキハ其期日ノ經過スルヲ待テ案内書ヲ返付シ若シ期限内現金ノ仕拂ヲ請求スルモノアルトキハ直ニ府廳第四課長又ハ區長ニ通報スルモノトス

第 號

何區何町何番屋敷 某

(甲) 一金何圓

明治何年度 何々々々

此金額何年 領收

市税金ノ取扱人ノ印

右何年何月何日限上納スベシ

明治何年何月何日

知事又ハ區長印

市事會又ハ區役所ノ印

第 號

(乙) 一金何圓

明治何年度 何々々々

納人ノ印

右上納候也

何區何町何番屋敷 何 某 印

明治何年何月何日

市税金ノ取扱人印

第 號

(丙) 一金何圓

明治何年度 何々々々

納人ノ印

明治何年何月何日

何區何町何番屋敷 何 某 印

第四號 (納付書樣式)

第 何 號 取扱主任 何 某 印

正 何 年 度 款

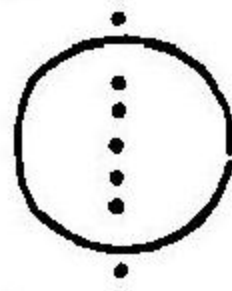
一 金 何 圓 ○ 現金取扱人印

何年何月何日領收 ○

右 納 付 候 也

明治何年何月何日

現金取扱人印



第 何 號 取扱主任 何 某 印

副 何 年 度 款

一 金 何 圓 ○ 現金取扱人印

何年何月何日領收 ○

右 納 付 候 也

明治何年何月何日

(第七號樣式)

(用紙半紙郵)

市稅々目誤謬更正報告書

一金何程

但何月何日何年度何割(或ハ何程ノ内)誤謬ニ付何割ニ更正スヘキ分

一金何程

但何々

(以下幾筆アルモ順次記載スヘシ)

合計金何程

右之通誤謬有之候間更正相成度此段及報告候也

明治何年何月何日

何區長 氏 名印

大阪府第二部第四課長何某殿

(第八號樣式)

(用紙美濃十三行野紙)

何年何月中收入金精算書

一金

收入 高

金

内

財産ヨリ生スル收入

金

内

貸地料

金

内

藏敷料

金

内

雜收入

金

内

竹木拂代

金

内

不用品賣却代

金

内

市稅

金

内

地價割

金

内

營業割

右ハ明治何年何月中收入金精算額相違無之候也

明治何年何月何日

何區長 氏 名印

大阪府第二部第四課長何某殿

(第十一號樣式)

預算費		第		號		明治		年		月		日	
區長		主		任		查		調		簿		記	
款		項		目		何		、		、		、	
一金		但		何		、		、		、		、	
出		歲		度		年		出		歲		度	

○命令書用紙

(第十二號樣式)

(用紙西洋紙)

仕掛切符

五寸

明治何年何月何日		第何號		受取人	
何年度		何年度		款	
一金何程		但何々		主任印	

府廳第四課長又ハ區長印

甲第何號		受取人	
何年度		何年度	

分 八 寸

一金何程

主任印

右金員此證書引換ニ當應所在現金取扱人ニ於テ可相渡候也
明治何年何月何日
府廳第四課長 何 某印
期限十日間

二六三

分 五 寸 二

乙第何號 受取人

何年 度 款

一金何程

主任印

右金員仕拂切符本日振出候也

明治何年何月何日

府廳第四課長

何

某印

(第十三號書式)

(用紙美濃十三行部)

何年度何月分何區役所經費仕拂精算書

一金、、、、、(朱書)

豫 算

一金

仕

外金、、、、、(朱書)

何月～越 高 高 高

內 譯

役 所 費

金

給 料

金

區長給料

區長給料

使丁給料

雜 給

金

旅費

報 費

金

需用費

內

二六三

金 金

備 品 費
消 耗 品 費

(以下皆之ニ做乙)

右ハ明治何年何月中當區役所經費支拂精算額ニ付別紙領收證書及御送付候也

年 月 日

何 區 長 氏 名 印

大阪府第二部第四課長宛

(第十四號様式)

(用紙半紙野)

領收證書未到達及仕拂切符未渡報告

一金

旅 費

一金

備 人 料

但證書未到達高

一金

消 耗 品 費

一金

通 信 運 搬 費

但切符未渡高

通計金

右報告候也

年 月 日

何 區 長 氏 名 印

大阪府第二部第四課長何某殿

(第十五號樣式) (用紙半紙郵)

明治何年度經費仕拂殘額返納書

一金何圓

內譯

右返納候也

區役所經費殘額

明治何年何月何日

何區長 氏 名印

大阪市參事會

大阪府知事何某殿

(第十六號樣式) 返納告知書

五 寸

分 五 寸 一

明治何年何月何日發付	何 某
第何號	
何年度款	
返納人	
一金何程	
但何々	
何年何月何日返納済	
「知事又ハ區長ノ印	

分 八 寸 二

第何號	
何年度款	
一金何程	
但何々	
主任印	
年 月 日 領收	
「取扱人ノ印	
右何月何日限り本廳所在現金取扱人へ返納	
知事又ハ區長何某印	
明治何年何月何日	
何 某 殿	
現金取扱人ノ印	

分五寸二

正 第何號	何 年 度 款	一 金 何 程	但 何 々	右 返 納 候 也	明 治 何 年 何 月 何 日	主任印	何年何月何日納済	「取扱人ノ印	何 某 印
----------	------------------	------------------	-------------	-----------------------	--------------------------------------	-----	----------	--------	-------------

現金取扱人ノ印

分五寸二

副 第何號	何 年 度 款	一 金 何 程	但 何 々	右 返 納 候 也	明 治 何 年 何 月 何 日	主任印	何年何月何日納済	「取扱人ノ印	何 某 印
----------	------------------	------------------	-------------	-----------------------	--------------------------------------	-----	----------	--------	-------------

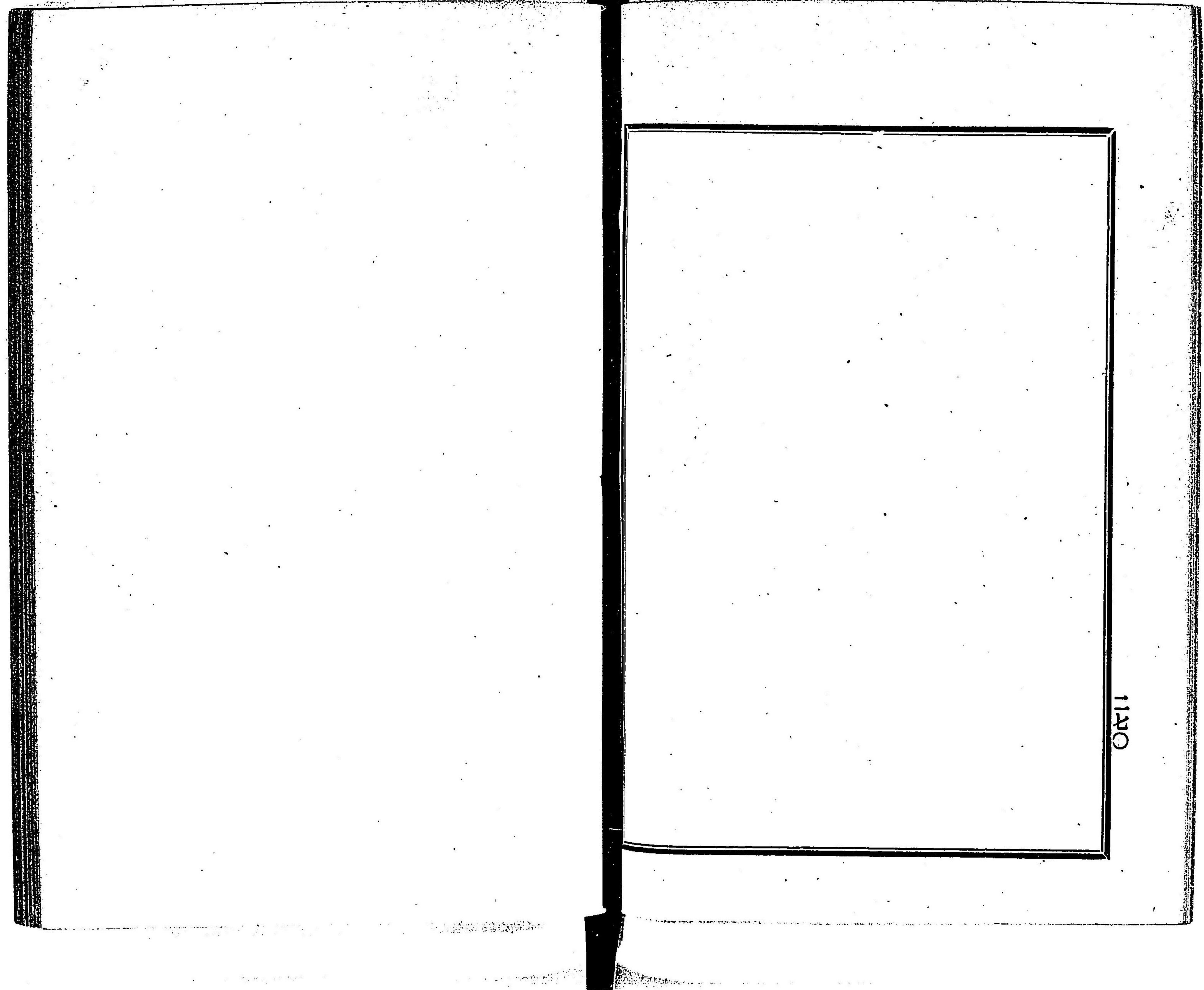
○歳入出記簿様式 明治二十三年三月廿七日
大阪府訓令第十一號

區

役

所

大阪市歳入歳出記簿様式別紙ノ通相定メ明治二十三年度ヨリ施行ス 但明細簿ヲ要スルモノハ適宜之ヲ設クヘシ



1140

何 年 度

日 記 簿

某 區 役 所

1

年

月

借方

豫算

使用料及手数料

3	溝上使用料	歳入豫算決定額	50	00	0
	山崎ノ鼻出店料	"	120	00	0
	西洋形船海員雇入雇止公認手数料	"	760	00	0
			930	00	0

雑収入

4	不用品賣却代	歳入豫算決定額	17	50	0
	小学校授業料	"	16,000	00	0
	幼稚園保育料	"	725	00	0
			16,742	50	0

市税

5	地價割	歳入豫算決定額	3,000	00	0
	營業割	"	3,000	00	0
	家屋割	"	900	00	0
			6,900	00	0
			24,572	50	0

大阪市参事會費

2	教育費	歳出豫算決定額	25,170	00	0
	區役所費		11,200	00	0

36,370 00 0

1

日

貸方

合達ノ片

大阪市参事會

2	使用料及手数料	歳入豫算決定額	930	00	0
	雑収入	"	16,742	50	0
	市税	"	6,900	00	0

24,572 50 0

教育費

6	高等小学校費	歳出豫算決定額	900	00	0
	尋常小学校費	"	21,700	00	0
	簡易小学校費	"	770	00	0
	幼稚園費	"	1,800	00	0
			25,170	00	0

區役所費

7	給料	歳出豫算決定額	9,000	00	0
	雑給	"	200	00	0
	需用費	"	2,000	00	0
			11,200	00	0

36,370 00 0

借方

年

月

		收入			
現金					
1	大阪市參事會	收 號	3,000	00	0
	雜收入	” 號	1,003	00	0
	市稅	” 號	250	00	0
				4,253	00 0
		支拂			
區役所費					
7	給料書記給料	支號	700	00	0
	雜給備人料	” 號	25	00	0
	需用費備品費	” 號	10	00	0
				735	00 0
教育費					
6	高等小學校費 教員以下給	支號	100	00	0
	尋常小學校費 使丁給	” 號	60	00	0
				160	00 0
大阪市參事會					
2	雜收入不用品賣却代本府會計課へ送付	支號	3	00	0
	市稅營業割	” 號	250	00	0
				253	00 0
				1,148	00 0
		戻入			
現金					
1	區役所費	收 號			6 00 0

貸方

日

		收入			
大阪市參事會					
2	何月分區役所費本府會計課元受	收 號	1,000	00	0
	” 教育費 ”	” 號	3,000	00	0
				3,000	00 0
雜收入					
4	不用品賣却代	收 號	3	00	0
	小學校授業料	” 號	1,000	00	0
				1,003	00 0
市稅					
5	營業割	收 號	250	00	0
				4,253	00 0
		現金			
區役所費					
1	區役所費	支 號	735	00	0
	教育費	” 號	160	00	0
	大阪市參事會	” 號	253	00	0
				1,148	00 0

3 借 方 年 月

2. 大阪市参事會
市税豫算減額 100 000

2. 大阪市参事會
區役所費豫算増額 450 000

日 貸 方 3

5. 市 税
家屋割何々ノ事由ニ依リ豫算減額 100 000

7. 區 役 所 費
需用費何々ノ事由ニ依リ豫算増額 450 000

何 年 度

原 簿

某 區 役 所

雜 收 入

年 月	號 日	摘 要	日 記 丁 數	借 方		貸 方		借 或 貸	殘	
				圓	錢	厘	圓		錢	厘
		諸件歳入豫算決定額	1	16,742	500					
		收 號	2			1,003	000	借	15,739	500

市 稅

年 月	號 日	摘 要	日 記 丁 數	借 方		貸 方		借 或 貸	殘	
				圓	錢	厘	圓		錢	厘
		諸件歳入豫算決定額	1.	6,900	000					
		營業割 收 號	2.			250	000	借	6,650	000
		家原何々事由=依り豫算 税割	3.			100	000		6,550	000
				6,900	000	250	000			
		扣除高		100	000					
		追次操越高		6,800	000	250	000			

何 年 度

歲 入 內 譯 簿

某 區 役 所

雜 收 入

年月日

摘

要

豫算決議高
 何尋常小學校何月分金額納市內生徒何人分
 何高等小學校何月分金額納市外生徒何人分

小 學 校 授 業 料

憑 書
記 番 號

借

方

貸

方

借
或
貸

殘

圓 錢 厘

圓 錢 厘

圓 錢 厘

報 號
收 號
” 號

5,000 00 0

100 00 0

100 00 0

借
”
”

5,000 00 0

4,900 00 0

4,800 00 0

7

市 稅

年月日

摘

要

預算決議高
料理屋稅何期分

8

營 業 割

憑書記番號

借 方

貸 方

借或貸

殘

圓 錢 厘

圓 錢 厘

圓 錢 厘

報 號
收 號

10,000 00 0

10 00 0

借
”

10,000 00 0

9,990 00 0

何 年 度

經 費 內 譯 簿

某 區 役 所

大阪市

年月日

摘要

豫算決議高
何月分領收
何々ノ事由ニ依リ豫算減額
何々ノ事由ニ依リ豫算増額

扣除高

追次繰越高

會事參

憑記番証號

借

方

貸

方

借或貸

殘

圓

錢

厘

圓

錢

厘

圓

錢

厘

報號
收號
報號
”號

10,643 00 0

15 00 0

1,080 00 0
300 00 0

借
”
”
”

10,643 00 0
9,563 00 0
9,263 00 0
9,278 00 0

10,658 00 0 1,080 00 0
300 00 0 0
10,358 00 0 1,080 00 0

現

金

年月日	摘要
	何月分 本府會計課ヨリ元受
	給料 書記給料
	需用費 消耗品費
	” 備品費
	給料 區長給料 書記給料 雜給 旅費
	” 使丁給料 雜給 勉勵賞與
	需用費 賄費 ” 備料
	給料 使丁給料戻入
	建築修繕費 役所修繕費
	需用費 賄費

憑記番號	借方			貸方			借或貸	殘		
	圓	錢	厘	圓	錢	厘		圓	錢	厘
收	1,080	00	0				借	1,080	00	0
支				134	00	0	”	946	00	0
”				1	61	5	”	944	38	5
”				3	38	0	”	941	00	5
”				111	31	0	”	829	69	5
”				93	60	0	”	736	09	5
”				8	84	0	”	727	25	5
收支	0	45	0							
支				0	80	0	”	726	90	5
”				1	55	0	”	725	35	5

給料

書記給料

年月日	摘要	給料		
		給額	現勤日數	人員
	豫算決議高			
	何月分書記給料			
	一級 何某	40,000		1
	三級 何某	30,000		1
	七級 何某 何某	12,000		2
	九級 何某 何某 何某 何某 何某 何某	8,000		5
	何某 何某 何某	0,270	31	4
	何某 何某	0,250	31	2
	何某 何某 何某	0,270	25	3

憑記番號	借方			貸方			借或貸	殘		
	圓	錢	厘	圓	錢	厘		圓	錢	厘
報號				6,000	00	0	貸	6,000	00	0
支號	134	00	0				”	5,866	00	0
” 號	60	86	0				”	5,805	14	0

給料

使丁給料

年月日	摘要	給額	現勤日數	人員	
	豫算決議高				
	何月何日ヨリ何月何日迄 使丁給料何某外何人	0,150	31,	4	16,800
	何月何日ヨリ何月何日迄 給仕給料何某外何人	0,100	31,	6	16,800
	何月何日ヨリ何月何日迄 使丁何某給料何月何日支張ヲ 以テ支拂濟ノ度何月何日欠 勤ニ付内三日間返納	0,150	3	1	
	何々事由ニ依リ豫算減額				
	扣除高				
	追次操越高				

憑書 記番號	借方			貸方			借或貸	殘		
	圓	錢	厘	圓	錢	厘		圓	錢	厘
				1,500	00	0	貸	1,500	00	0
支號	33	60	0				"	1,466	40	0
取號				0	45	0	"	1,466	85	0
報號	200	00	0					1,266	85	0
	33	60	0	1,500	00	0				
	0	45	0	200	00	0				
	33	15	0	1,300	00	0				

雜 給

年月日

摘要

豫算決議高

何々御用ニ付書記何某何月何日出發何處ニ至リ即
日ヨリ廳此管内陸路里程三里八町

——”——雇 何某——”——

旅 費

憑 書
記 番 號

借

方

貸

方

借或貸

殘

圓 錢 厘

圓 錢 厘

圓 錢 厘

報 號
支 號
支 號

5 00 0

0 24 0

0 21 0

貸

5 00 0

4 55 0

年月日

摘

要

給額人員

豫算決議高
職務格別勉勵 = 付賞與
區長何某
書記何某 何某 何某
雇 何某 何某

20,000	1	20,000
10,000	3	30,000
5,000	2	10,000

憑記番號

借

方

貸

方

借或貸

殘

圓 錢 厘

圓 錢 厘

圓 錢 厘

報號

100 00 0

貸

100 00 0

支號

60 00 0

借

40 00 0

雜 給

年月日

摘

要

豫算決議高

手 數 料

憑 証
記 番 號

借

方

貸

方

借或貸

殘

圓

錢

厘

圓

錢

厘

圓

錢

厘

報

號

500 0

貸

5 00 0

需用費

年月日

摘要

品目
簡新 數
調修 結
價格

預算決議高					
買入	國稅雜印	個	17	0,040	0,680
	箱火鉢		10	0,230	2,300
修繕	"	個	5	0,080	0,400
何々事由=依) 豫算増額					

備品費

憑書
記番 號

借方 貸方

借或貸

殘

圓	錢	厘	圓	錢	厘	圓	錢	厘
---	---	---	---	---	---	---	---	---

報 號				85	00	0	貸	85	00	0
支 號	3	38	0				"	81	62	0
報 號				15	00	0	"	96	62	0

需用費

年月日	摘要	品目		數量	價格	
		品名	單位		單價	總價
	預算決議高 買入	美濃紙	帖	10	0,052	0,520
		切炭	匁	10,000	0,090	0,900
		種油	升	1		0,195
	何々ノ事由ニ依リ預算減額					
	扣除高					
	追次繰越高					

消耗品費

憑記番証號	借方			貸方			借或貸	殘		
	圓	錢	厘	圓	錢	厘		圓	錢	厘
報號				1,500	00	0	貸	1,500	00	0
支號	1	61	5					1,498	38	5
報號	100	00	0					1,398	38	5
	1	61	5	1,500	00	0				
	0			100	00	0				
	1	61	5	1,400	00	0				

需用費

年月日

摘要

預算決議高

通信運搬費

憑記 番 証號

借方 貸方

借或貸

殘

圓 錢 厘

圓 錢 厘

圓 錢 厘

報 號

200 00 0

貸

200 00 0

建築修繕費

年月日

摘

要

豫算決議高

役所建築費

憑書記番號

借方

貸方

殘

圓 錢 厘

圓 錢 厘

圓 錢 厘

報 號

350 00 0 貸

350 00 0

何 年 度

一 時 取 扱 金

某 區 役 所

現

金

1		現		金		2	
年月日	摘要	借方	貸方	殘	顛	末	
	收入 救助費						
	收 全全全全全全全全全全	3 60 0		3 60 0			
	仕 全全全全全全全全全全	2 21 2		5 81 2			
	收 全全全全全全全全全全		3 60 0	2 21 2			
	仕 全全全全全全全全全全		1 12 2	1 09 0			
	收 全全全全全全全全全全	0 92 0	1 09 0	0			
	仕 全全全全全全全全全全		0 92 0	0 92 0			
	收 全全全全全全全全全全			0			
	仕 全全全全全全全全全全						

憑 書
記 號

借 方

貸 方

殘

顛 末

收 號
" 號
支 號
" 號
" 號
收 號
支 號

3 60 0
2 21 2

0 92 0

3 60 0
1 12 2
1 09 0
0 92 0

3 60 0
5 81 2
2 21 2
1 09 0
0 92 0
0

救 助 費

極 貧 者 救 助 費

年月日	摘 要	名 稱	數 量	價 格
	衣食費 何町何丁目何某ノ分本府會計課ヨリ回金			1,122
	療養費 何町何丁目何某ノ分			1,090
	埋葬費 何町何丁目何某何月何日ヨリ何月何日迄何月分	衣食費	月 3	1,200
	衣食費 何町何丁目何某何病院へ入院ニ付何月何日ヨリ何月何日迄ノ分	入院料	日 34	0,033
	療養費 何町何丁目何某入院療養ノ處何月何日死亡セシニ付埋葬ニ係ル費用何某渡	人 足	人 2	0,140
	埋葬費 何町何丁目何某ニ付埋葬ニ係ル費用何某渡	葬具費		0,210
		埋葬地代		0,620
	衣食費 何町何丁目何某ニ係ル分何月何日支第號ヲ以テ何月何日ヨリ何月何日迄分交拂濟ノ處何月何日死亡ニシニ付其翌日ヨリ何月何日迄分戻入	衣食費	日 23	0,040
	全 上 全上事由ニ付費ニ回金ナリタル内本府會計課返納			
	扣除高			
	追次繰越高			

憑 書 記 番 號	借 方	貸 方	殘	顛 末
收 號		3 60 0	3 60 0	何月何日仕拂濟ニ上支拂ノ内何月何日(0,920)尙存尙存(1,122)支拂
支 號	3 60 0		2 21 2	何月何日(1,030)支拂濟
支 號	1 12 2		1 09 0	何月何日(0,920)戻入
支 號	1 09 0		0	
支 號		0 92 0	0 92 0	
支 號	0 92 0		0	
		5 81 2	5 81 2	
		0 92 0	0 92 0	
		4 89 2	4 89 2	

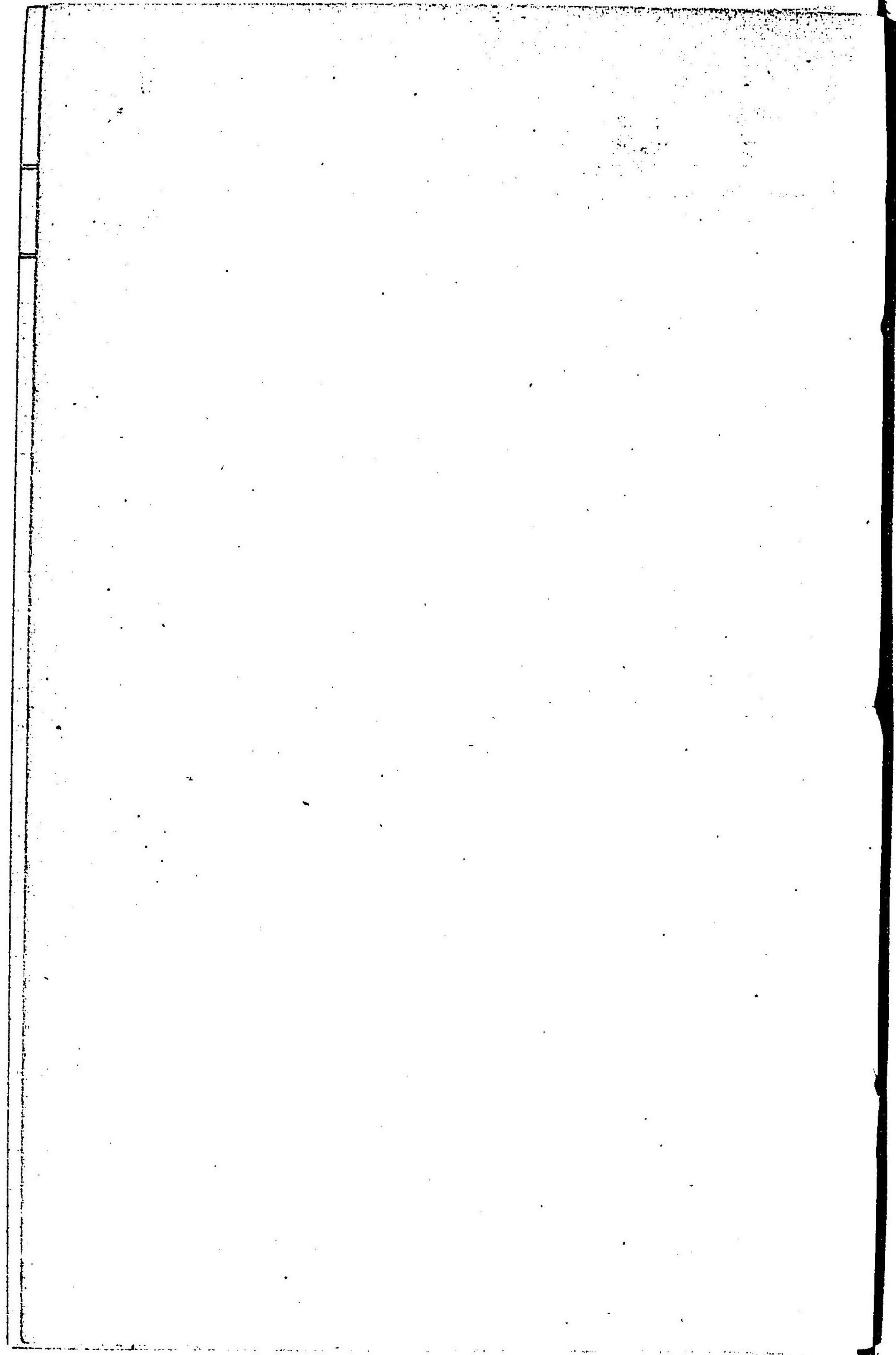
5

何々々費

6

何々々費

記帳方前科目=全ツ但シ特=豫算報告=係ルモノハ凡テ區役所費標準=準ズ



○地方税等ニ關スル記簿式 明治二十三年四月二十二日
本年市訓令參第十一號ヲ以テ市歳入出記簿様式被相定候處右ニ關スル外即地方税備蓄金等ノ如キ記簿様式別段御達モ無之是等ヲ特ニ區別スルモノトセハ人員ト費途ニ相關シ候故等シク右市歳入出記簿へ併記(内譯簿ハ除ク)執計可然乎此段相伺候也
明治二十三年四月七日
四區長 迷 署

指令 明治二十三年四月二十二日
大阪市指令參第一號

區 役 所

四月七日出第二一五號伺 記簿ノ件ハ伺ノ通

○市税金取扱人選任方 明治二十二年八月十七日
市税金取扱人ハ市參事會之ヲ選任シ其命令發ヲ發ス

○繰入金ノ割戻并ニ過誤納金還付手續 明治二十四年四月十日
大阪市訓令參第五號

區 役 所

大阪市歳入金ニシテ府廳第四課長へ送納濟ノ内税金割戻若クハ過誤納金ノ還付等ヲ要スルトキ其年度收入金完納前ハ出納順序第六號様式ニ準據シ下戻方第四課長へ請求スヘシ

○市税滞納處分取扱方 明治二十三年五月八日
大阪市訓令參第廿三號

區 役 所

明治二十二年十月十二日法律第三十二號ニ依リ市税滞納處分取扱方左ノ通心得ヘシ

第一條 國稅滞納處分法第二條其他ニ掲クル收入官吏ノ事務ハ區長之ヲ取扱フ可シ

第二條 國稅滞納處分法第十二條ノ財産差押命令書ハ區長之ヲ發ス可シ

第三條 國稅滞納處分法第四十條買受望人ナキ物件ノ買上ケヲ要スル場合アルトキハ市參事會ノ指揮ヲ乞フ可シ

第四條 國稅滞納處分法第十一條ノ囑托ハ區長ヨリ他ノ市參事會又ハ區長及町村長ニ囑托ス可シ

第五條 市税ノ督促ハ市制第二百二條ニ據ル可シ

第六條 滞納税金扣除ヲ要スル時ノ順序ハ從來ノ例ニ依ル可シ

○市有物件ニ係ル市稅取扱方 明治二十三年二月二十八日 大阪府訓令第六號

區 役 所

公立學校病院等ニ使用スル船車ハ市税ヲ免除スルニ據ト心得ヘシ

○國稅徵收手数料請求手續 明治二十二年十月五日 大阪府訓令第二十號

區 役 所

本年法律第九號第三條第二項ニヨリ市ニ收入スル國稅徵收手数料ハ本年大阪府訓令第六十二號ニヨリ區長ヨリ直ニ請求スヘキニ據ト心得ヘシ

○他廳ノ囑托ニ係ル諸税金送付手数料費途 明治二十五年一月十二日 大阪府訓令第一號

區 役 所

他廳ノ囑托ニ應ジ諸稅徵收金其他送金ニ要スル手数料ハ右徵收金等ノ内ヨリ扣除シ其旨ヲ添書シ囑托廳ニ送付スヘシ 但二十三年八月木市訓令參第四十三號ハ消滅ト心得ヘシ

○市費一時繰替支辨方 明治二十二年十月二十九日 大阪府訓令第三十九號

區 役 所

本年大阪府令第六十四號區長委任事項第二十二項行旅病人死亡人ニ關スル諸費其他市費ヲ以テ一時繰替ヲ要スルモノハ其都度詳細ナル仕譯書ヲ添ヘ市參事會ヘ請求シ後日償却ヲ受ケタルトキハ直ニ返納スヘシ

○出納検査規程 明治二十三年二月二十七日 大阪府訓令參第五號

區 役 所

大阪市出納検査規程別紙ノ通相定ム

(別紙)

大阪市出納検査規程

第一條 府廳會計課及大阪市區役所ニ於テ取扱フ所ノ市ノ出納ハ此規程ニ據リ検査ヲ行フモノトス

第二條 出納検査ハ書記官ヲ検査長トシ議事會計課課員ヲ検査員トス 但會計課長主管ノ出納ニ對スル検査ハ會計課員ヲ除ク

第三條 例月検査ハ毎月五日ヨリ十五日迄ノ間トシ臨時検査ノ期日ハ立會者ト協議シ臨時之ヲ定ムルモノトス

第四條 検査員ノ検査スヘキ要領左ノ如シ

行旅病人死亡人ニ關スル諸費其他市費ヲ以テ一時繰替ヲ要スルモノハ其都度詳細ナル仕譯書ヲ添ヘ市參事會ヘ請求シ後日償却ヲ受ケタルトキハ直ニ返納スヘシ

府廳第一及第二部ハ同日第八號ヲ以テ同様傳達ス

- 一 現金及公債證券等ノ精査
- 二 金錢并出納證書等收支帳簿ノ精査
- 三 命令書并領收證書類ノ精査
- 四 抵當品及保證金ノ精査
- 第五條 検査員及検査ヲ行フニ方リ法律命令ニ背戾シタルモノ又ハ誤謬違算等ヲ發見シタルトキハ検査ヲ受クヘキ場所ノ長又ハ主任者ヨリ事由書ヲ徴シ意見ヲ付シ府知事ニ具申スヘシ 但事輕易ナルモノハ検査員ニ於テ直ニ訂正セシムルヲ得
- 第六條 検査ヲ受クヘキ場所ノ長ハ検査上ニ關シ検査員ト意見ヲ異ニシ又ハ其處置ヲ不當ト認ムルコトアルトキハ直ニ府知事ニ具狀シ指揮ヲ乞フヲ得
- 第七條 検査員ハ検査ノ成績ヲ詳具シ府知事ニ復命スヘシ

○所得稅附加稅賦課方明治二十三年九月四日 第五一號

本年度所得稅附加徵收上ノ件左ノ通御承知相成度市參事會ノ議決ヲ經テ此段及御通牒候也

區 長 宛

第 一 部 長

一 市外ニ於テ所得稅ヲ納ムルモノニシテ本市内ニ所得アルモノハ其所得ニ對スル所得稅額ニ附加稅ヲ賦課スルモノトス

一 前項所得稅ヲ算出スルハ市ノ内外ヲ問ハス本稅納額ノ率ニヨリ假ニ本市内ニ係ル所

本通牒ハ一
ケ年度限効
力ヲ失スル
モノトシ如キ
モ爾來尙賦
課法ヲ變更
セサル儘更
考ノ爲茲ニ
登載ス

得稅ヲ算出シ之ノニ附加稅ヲ賦課スルモノトス

○間接國稅ニ市稅附加明治二十二年九月十八日 市會議決

本市ハ左ノ間接國稅ニ市稅ヲ附加シ其額ハ國稅ノ百分ノ二トス

株式取引所稅

米商會所稅

○間接國稅附加稅及特別稅新設明治二十三年四月二十二日 大阪市會參事第二十四號

間接國稅附加及特別稅新設ノ件左ノ通市會ノ議決ヲ經テ內務大臣大藏大臣ノ許可ヲ得

間接國稅附加

船稅解漁船、川船、及五

車稅馬車、人力車、荷積馬車、荷積大七

特別稅

演劇場稅

興行場稅

人寄席稅

國稅年額十分ノ五以內

全 十分ノ四以內

一ヶ年收入金百分ノ七以內

遊覽所稅

一 演劇場稅與行場稅人寄席稅遊覽所稅ハ本市内ニ設立スル演劇場興行場人寄席遊覽所ニ賦課ス

一 前項收入金ヲ定ムルハ前年度ノ上リ高ニ依リ新ニ設立シタル者ハ其年ノ收入金豫算額ニ依ル

○特別稅ニ關スル細則 明治二十三年三月二十七日 大阪市條例第二號

本市ニ於テ特別稅ニ關スル細則ヲ議決シ市制第二百一十一條ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

特別稅ニ關スル細則

第一條 本市ハ左ノ特別稅ヲ賦課ス

國立銀行稅

步一稅

第二條 國立銀行稅ハ本市ニ設立スル本店又ハ支店ノ利益金額千分ノ十以内トシ其本店又ハ支店ニ賦課ス

前項賦課ノ金額ヲ定ムルハ前年ノ利益金額ニ依リ新ニ設立シタルモノハ其年ノ利益金豫算額ニ依ル

第三條 步一稅ハ土地又ハ建物ノ價格金六十分ノ一トシ土地又ハ建物ノ賣買讓與家督相續即チ戸主ノ死亡若クハ隱居ニ依リ跡相續ヲ爲ス場合ヲ除クノ節其買得者又ハ其讓受者ニ賦課ス 但價格金ハ登記料ヲ納メタル賣買代價又ハ登記料ヲ納メタル時價格ニ依ル

第四條 第二條ノ賦課額ハ毎年市會ノ議決ニ依リ之ヲ定ム

第五條 國立銀行本店又ハ支店ハ毎年一月中前年ノ利益金額ヲ所轄區長ニ届出ツ可シ前項期限ノ後新ニ設立シタルモノハ其年ノ利益金豫算額ヲ又廢店若クハ停業シタルモノハ其事由ヲ七日以内ニ届出ツ可シ

第六條 土地建物買得者又ハ讓受者ハ其土地又ハ建物ノ所在町名箇所番號并ニ登記料ヲ納メタル價格金ヲ七日以内ニ所轄區長ニ届出ツ可シ

○國立銀行稅賦課方 明治二十五年四月十八日 郡乙第一五〇號

本市ニ於テ從來國立銀行稅ハ考課狀記載ノ利益金ヲ標準トシ課稅ノ處本年度ニ於テハ右利益金中銀行稅役員賞與交際費ノ三日ヲ扣除シ課稅スヘキ義ニ議決相成候條此段及御通牒候也

區長 宛

内務部 長

本通限ハ一ケ年度限効力ヲ失ハスルモノノ如キモ爾來尙賦課法ヲ變更セザル爲登載考ノ爲登載ス

前同様ノ意味ヲ含ムモ是亦參考ノ爲茲ニ登載ス

○國立銀行稅賦課額算出方 明治二十五年四月二十二日 市參事會議決

市稅中國立銀行稅賦課方本年度ニ於テハ利益金中銀行稅交際費役員賞與費ノ三日ニ係ル金額ハ之ヲ扣除

シ賦課スヘキ並ニ既ニ市會ニ於テ購定ノ邊銀行考課狀中役員貸與費交際費ノ如キハ本支店ニ區別記載ナ
キヲ以テ右等ハ本支店ニ就キ取調其中出額ヲ扣除シ賦課スヘキモノトス

○市稅徵收方明治二十二年十月一日
大阪市告示第二十四號

市稅徵收ノ件本市會ノ議決ヲ經テ左ノ通相定ム

本市稅ハ會計年度中其納稅義務消滅又ハ變更シタルモノアルトキハ市制第百條第二項
ニ依リ納稅者ヨリ其届出ヲ爲シタル月ノ終リ迄之ヲ徵收ス

○市稅徵收期限明治二十五年三月三十日
大阪市告示第十五號

本市會ノ議決ヲ經テ市稅徵收期限ヲ定ムルニト左ノ如シ

市稅徵收期限

地價割 家屋割 國立銀行稅

第一期 四月十五日ヨリ五月十四日迄

第二期 十月十五日ヨリ十一月十四日迄

營業割

年稅ニ屬スルモノ

第一期 四月十五日ヨリ六月十四日迄

第二期 十月十五日ヨリ十一月三十日迄

月稅ニ屬スルモノ

地方稅雜種稅ノ納期ニ依ル

株式取引所稅附加 米商會所稅附加 所得稅附加

國稅納期ニ依ル

船稅附加 車稅附加

第一期 七月一日ヨリ三十一日迄

第二期 一月一日ヨリ三十一日迄

歩一稅

登記ヲ終リタル日ヨリ七日以内

演劇場稅 興行場稅 人寄席稅 遊覽所稅

其月分 其月一日ヨリ十日迄

○川中使用料徵收法明治二十四年五月十五日
大阪市告示第十六號

本市會ノ議決ヲ經テ川中使用料徵收法左ノ通相定ム

川中使用料徵收法

第一條 本市内川中使用ノ許可ヲ受ケタルモノアルキハ左ノ率ニ依リ使用料ヲ徵收ス

- 一 常時置据ノ料理船、生洲船、紺屋洗船、川魚生洲籠等ノ繫場及ヒ竹木浮場、荷揚棧橋、水汲棧橋、呼井戸場等ノ敷地ハ壹坪ニ付一ヶ年拾貳錢
- 二 常時置据ニアラサル遊船、貸船、解船、水船等ノ繫場ハ壹坪ニ付一ヶ年拾五錢
- 三 専ラ回漕ヲ營業トスル劔先船、上荷船、三拾石船、小廻船等ノ繫場ハ壹坪ニ付一ヶ年拾貳錢

第二條 使用料ハ使用ノ許可ヲ受ケタル月ノ始ヨリ返還届出テノ月ノ終リ迄月割ヲ以テ之ヲ徴收ス

第三條 使用料徴收期限ハ左ノ如シ

- 第一期 其年四月ヨリノ分其年四月一日ヨリ
其年九月ヨリノ分其年九月十五日ヨリ
 - 第二期 其年十月ヨリノ分其年十月一日ヨリ
其年三月マデノ分其年三月十五日ヨリ
- 徴收期限後新マニ使用ノ許可ヲ受ケタルモノハ其日ヨリ十日以内

○溝上使用料徴收法 明治二十三年十月十三日
大阪市告示第五十一號
本市會ノ議決ヲ經テ溝上使用料徴收法左ノ通相定ム

溝上使用料徴收法

第一條 本市内溝上使用ノ許可ヲ受ケタルモノアルキハ左ノ率ニ依リ使用料ヲ徴收ス
溝上使用料一ヶ年近隣地價百分ノ五

第二條 使用料ハ使用ノ許可ヲ受ケタル月ノ始ヨリ返還届出テノ月ノ終迄月割ヲ以テ之ヲ徴收ス

第三條 使用料徴收期限ハ左ノ如シ

- 其年四月ヨリノ分其年四月十五日ヨリ
其年三月マデノ分其年三月十五日ヨリ
- 徴收期限後新ニ使用ノ許可ヲ受ケタルモノハ其日ヨリ十日以内

○物品購入賣却規則 明治二十二年十月一日
大阪市告示第十八號

本市會ノ議決ヲ經テ物品購入賣却規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

物品購入賣却規則

第一條 入札ヲ以テ物品ヲ購入又ハ賣却セントスルキハ揭示又ハ新聞紙其他ノ方法ヲ以テ公告スヘシ 但時宜ニ依リ市參事會ニ於テ入札人ノ資格ヲ定ムルコトアルヘシ
公告ニハ左ノ事項ヲ掲記スヘシ

- 一 品目 數量
 - 二 入札開札ノ場所日時
 - 三 入札保證金額
 - 四 市參事會ニ於テ入札人ノ資格ヲ定メタルトキハ其資格
- 第二條 入札セントスルモノハ購入品ノ品質仕様書及圖面又ハ見本ヲ賣却品ハ其現品

ヲ熟覽シ公告シタル日時迄ニ別紙第一號様式ニ依リ入札スヘシ 但特ニ入札書式ヲ定メタルトキハ其書式ニ依ル

購入品ハ其見本ヲ入札ニ添付シ差出サシムルコトアルヘシ
前項調達又ハ引取期限ハ其時々之ヲ定ム

第三條 入札セントスル者ハ入札保證金ヲ納ムヘシ其額ハ隨時之ヲ定ム 但見積代價百圓未滿ノ購入品及拾圓未滿ノ賣却品ハ入札保證金ヲ徵セサルコトアルヘシ

前項保證金ハ入札ニ先チ府廳第四課長又ハ區長ヲ經テ市税金取扱人ニ預ケ入レ其預リ證ヲ入札ニ添付シ主務吏員ノ領收證ヲ受クヘシ 但時價相當ノ公債證書又ハ國立銀行預リ證ヲ以テ之レニ代ルモ妨ケナシ

第四條 入札保證金ハ落札者ハ第七條ノ手續ヲ了シタル上之ヲ還付シ其他ハ開札ノ後直ニ之ヲ還付スヘシ 但落札者ノ入札保證金ハ物品購入又ハ賣却スルトキ第七條ノ身元保證金ト差繼チ爲スモ妨ケナシ

第五條 開札ハ豫定ノ日時入札人又ハ其代人ノ面前ニ於テ之ヲ行フヘシ 開札ニ着手シタルトキハ入札又ハ書換取消ノ要求ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 入札ハ購入品ハ其最低價賣却品ハ其最高價ヲ以テ落札トス
第二條第二項ニ依リ購入品ノ見本ヲ入札ニ添付セシメタル場合ニ於テハ其見本ト價格ヲ照較シ最低價ト認ムルモノヲ以テ落札トス

落札トナルヘキモノ二名以上アルトキハ抽籤ヲ以テ其落札者ヲ定ム

入札ノ金額不相當ナルカ又ハ落札者其調達ノ經驗ナキカ又ハ身元確實ト認メ難キトキハ總テ入札ヲ取消シ更ニ入札セシムルコトアルヘシ 但時宜ニ依リ再入札ニ付セス第二ノ低價ヲ以テ落札トナスコトアルヘシ

第七條 落札者ハ二日以内ニ別紙第二號様式ノ調達又ハ買得請書及ヒ身元保證金トシテ購入又ハ賣却代價ノ十分ノ一ヲ納ムヘシ 但購入代價百圓未滿及賣却代價拾圓未滿ノモノハ身元保證金ヲ徵セサルコトアルヘシ

身元保證金ハ物品ヲ調達スルモ其品質ニ依リ特ニ指定スル日限ヲ超ユルニアラザルハ還付セサルコトアルヘシ 但時宜ニ依リ調達又ハ買得受書ニハ府下現住者若クハ府下ニ現住シ所得稅ヲ納ムルモノヲシテ保證ヲナサシムルコトアルヘシ

物品調達ノタメ其原品ヲ交付シ工料ヲ仕拂フ場合ニ於テハ身元保證金ノ外保險ノタメ其原品相當ノ代價ヲ納メシムルコトアルヘシ

第八條 落札者其取消ヲ乞ヒ又ハ前條ノ期日ニ受書ヲ差出サ、ルトキハ保證金ヲ沒收スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ再入札ニ付セス第二ノ低價又ハ高價ヲ落札トナスコトアルヘシ
第九條 正當ノ事由ナク豫定ノ期限内ニ物品ヲ完納セサルモノ又ハ物品調達ノ全部若クハ幾部ノ取消ヲ乞ヒタルモノ又ハ賣却代金ヲ納メサルモノハ其購入又ハ賣却ヲ取

消スヘシ此場合ニハ違約金トシテ身元保證金ヲ沒收ス
豫定ノ期限内ト雖トモ調達ノ準備不十分ニシテ完納シ能ハサルモノト認メタルトキ
亦前項ニ全シ

前二項ノ場合ニ於テ既納ニ係ル物品代價ハ下付スヘシ

第十條 豫定ノ期限内ニ物品ヲ完納セサルモ既ニ充分調達ノ準備ヲナシタルモノト認
ムルトキハ特ニ期限後調達日數十分ノ二ノ間ニ於テ完納ヲ許スコトアルヘシ
此場合ハ違約金トシテ期限ノ翌日ヨリ一日ニ付其未納ニ係ル物品代價ノ千分ノ五ヲ
徴收スヘシ 但調達日數十分ノ二ヲ超ユルトキハ第九條ニ準シ處分スヘシ

前項ノ違約金ハ別途徴收ス若シ納付セサルトキハ下渡代金ノ内ヨリ扣除スヘシ

第十一條 購入品ハ納付前總テ主務吏員ノ檢査ヲ受クヘシ若シ數量寸尺ニ相違アルト
キ又品位粗惡ト認ムルトキハ日ヲ期シ調達又ハ交換セシムヘシ

購入品ノ調製既定ノ仕様ニ違フモノアル時ハ日ヲ期シテ改造セシムヘシ

前二項ノ場合ニ於テ調達人其命令ニ従ハサルトキ又ハ交換改造スルモ猶寸尺相違品
位粗惡若クハ仕様ニ違フトキハ第九條ニ準シ處分スヘシ

第十二條 物品購入代價ハ現品納付ノ上下付スヘシ 但完納ニ至ラスト雖モ既納物品
代價相當ノ金員ヲ下付スルコトアルヘシ
賣却品ハ總テ代價完納ノ上之ヲ引渡スヘシ

第十三條 第八條第九條第十條第十一條ニ依リ處分ヲ受ケタルモノハ處分後一ケ年間
本市ノ物品購入又ハ賣却ニ對シ入札スルコトヲ許サス
第十四條 本則ニ掲クルノ外物品受渡ニ關スル手續ハ市參事會又ハ區長ニ於テ隨時之
ヲ定ム

第一號様式 甲

(用紙半紙)

入 札

一金何百何拾圓也

但品質、品目、仕様書、及圖面又ハ見本ノ通

員數壹個ノ代價完納迄一切ノ費額

右金額ヲ以テ調達可致候也

年 月 日

住 所

姓

名

大阪市參事會

大阪府知事宛

(大阪市某區長宛)

全

乙

入 札

一金何百何拾圓也

但何品外何點々數書ノ通引取迄一切ノ費額
右金額ヲ以テ買受可申候也

年 月 日

住 所 姓 名

大阪市參事會

大阪府知事宛

(大阪市某區長宛)

第二號樣式 甲

(用紙美濃紙)

調達請書

一金何百何拾圓也

調 達 品 金 額

但品質、品目、員數壹個ノ價

此身元保證金

何拾何圓

(何公債證書額面何拾圓 何枚)
(何國立銀行預證何圓)

右金額ヲ以テ調達被命候ニ付前記 現公債證書金 國立銀行預證 ナ身元保證トシテ御廳へ差出置キ總テ
物品購入賣却規則ニ遵ヒ別紙仕様書及圖面又ハ見本ノ通來ル何日限り完納可致候萬

一御規則ニ違背シタルトキハ違約金トシテ身元保證金ヲ沒收セラル、ハ勿論總テ御
規則ノ通御處分相成候共異議無之又御廳ノ損害トナルヘキ不都合ノ所爲有之本人ニ
於テ等閑ニ付スルトキハ保證人ニテ引受處辨可致候仍テ連署ヲ以テ請書差上候也

年 月 日

調 達 人 住 所 姓 名

保 證 人 住 所 姓 名

大阪市參事會

大阪府知事宛

(大阪市某區長宛)

全 乙

買得請書

一金何百何拾圓也

買 得 金 額

但何品外何點

此身元保證金

何拾何圓

(何公債證書額面何拾圓 何枚)
(何國立銀行預證何圓)

右金額ヲ以テ拂下相成候ニ付前記 現金又ハ公債證券 身元保證トシテ御廳へ差出置キ總テ
 物品購入賣却規則ニ從ヒ別紙點數帳ノ通來ル何日限り代金完納ノ上引取可申候萬一
 御規則ニ違背シタルトキハ違約金トシテ身元保證金ヲ沒收セラル、ハ勿論總テ御規
 則ノ通御處分相成候共異議無之又御廳ノ損害トナルヘキ不都合ノ所爲有之本人ニ於
 テ等閑ニ付スルトキハ保證人ニテ引請處辨可致候仍テ連署ヲ以テ請書差上候也

年 月 日
 買 得 人 住 所 姓 名
 保 證 人 住 所 姓 名

大阪市參事會
 大阪府知事宛
 (大阪市長區長宛)

○物品購入賣却規則第十條ニヨリ徵收スヘキ違約金計算方明治二十六年三月二日
市參事會議決
 (前略)茲ニ期限內購入物品ノ幾部ヲ調達シ其殘餘ノ物品ヲ期限後ヨリ調達日數十分ノ二ヲ經過セサル間
 ニ數回(一日間ニ)送納シ送ニ完納スルモノアリトセハ之ニ對スル本條違約金徵收方法ハ調達期限當日ノ
 未納額ニ於ケル代價ノ千分ノ五ヲ以テ漸次未納額ノ減少スルニ拘ハラヌ完納ニ至ル日數間變更ナク徵收
 スヘキモノニアラスシテ毎回送納シタル若干分ヲ其前日ニ係ル未納額ヨリ扣除シタル殘數ニ於ケル千分

ノ五ヲ以テ其翌日ノ違約金トスル如ク未納額ノ減少ト共ニ違約金ノ遞減ヲナシ完納ニ至ル日迄徵收スヘ
 キモノトス而シテ納期後殘餘ノ物品若干分ヲ送納シタルモ尙調達日數十分ノ二以前ニ完納シ能ハス第九
 條ニ準シ處分スルモノニハ本條ノ違約金ト第九條ノ身元保證金ト併收スルニアラスシテ第九條ニ準シ
 購入ヲ取消シ身元保證金ヲ沒收スル場合ニハ本條ノ違約金ヲ徵收セサルモノトス

○物品購入ニ關シ入札價格不相當ナル處分方明治二十五年七月二十三日
大阪市告示參事會第二十八號
 本市會ノ議決ヲ經テ工事請負及物品購入ニ關スル條件ヲ定ムルコト左ノ如シ
 工事入札請負規則ニ依リ工事請負ノ入札ヲ爲サシメ若クハ物品購入賣却規則ニ依リ物品調達ノ入札ヲ爲
 サシムルモ代價不相當ニ付之ヲ取消シ再入札ニ付スモ尙代價不相當ナルトキハ其最世札以下ノ代價ヲ以
 テ便宜營業者ニ其請負若クハ調達ヲ爲サシムルコトヲ得 但施行ノ方法等ハ工事入札請負規則若クハ物
 品購入賣却規則其他關係規則ノ規定ヲ適用スルモノトス

○公入札ニ付セスシテ購入又ハ借入スヘキ動産不動産ノ種類并ニ金額明治二十二年十月一日
大阪市訓令第四號
 各 部 收稅部
 區 役 所
 市費ヲ以テ支辨スル工事其他ノ請負又ハ物品ノ購入等ニシテ左ニ掲クルモノ并ニ區役所經費豫算月額以
 内ヲ以テ購入スル需用品ハ公ノ入札ニ付セス便宜請負ヲ命シ又ハ購入スル議ト心得ヘシ

- 一 費額五拾圓未満ノ工事其他ノ事業
- 二 價格拾圓未満ノ物品購入
- 三 物質ニ由リ生産製造場所又ハ生産者製造者ヨリ直接ニ購入ヲ要スル物品

- 四 一人又ハ一會社ニテ專有スル物品ノ購入又ハ借入
- 五 土地家屋ノ買入又ハ借入ヲ爲スニ當リ其位置又ハ構造ニ限アルモノ
- 六 囚徒又ハ懲息ノ爲ニ設立セル教育所貧民ノ雇役及其製造物品ノ購入

○公入札ニ付セサル物品購入方
明治二十四年十二月十八日
 大阪市訓令參一第一九號

區 役 所

其役所ニ於テ物品ノ購入又ハ工事其他ノ請買ニシテ成規上公入札ニ付スルヲ要セサル場合ト雖務メテ當業者數名ノ價格見積書ヲ徴シ調査ヲ遂ケ購入又ハ請買ヲ命スル義ト心得ヘシ
 右訓令ス

○物品購入請買入札公告ニ關シ新聞紙へ登載方
明治二十五年三月二十二日
 市參事會議決

本市工事其他ノ廣告ニシテ爾今新聞ニ登載ノ場合ハ左ノ區別ニ依ルモノトス

- 一 一般周知ヲ要スル廣告及工事其他物品購入等其見積價格五百圓以上ノモノハ公告式新聞へ悉ク登載スルモノトス
- 一 工事其他物品購入等其見積價格五百圓以下ノモノハ朝日新聞毎日新聞ノ二新聞ニ登載スルモノトス

○基本財産管理方法
明治二十三年三月十三日
 大阪市告示參第三號

本市會ノ議決ヲ經テ基本財産管理方法ヲ定ムルコト左ノ如シ

基本財産管理方法

第一條 基本財産ハ公債證書又ハ收益アル不動産ヲ以テ之ヲ蓄積スルモノトス
 第二條 基本財産ヨリ生スル收益金又ハ臨時ノ加入金ハ公債證書ヲ購入スルモノトス
 但時宜ニ依リ大藏省預金局又ハ確實ナル銀行ニ預ケ入ルコトアル可シ

○市會ニ提出スヘキ財産明細表式
明治二十三年二月七日
 市參事會議決

市制第八條ニ依リ市會ニ提出スヘキ財産明細表式左ノ通相定ム

明治 年 月 日現在大阪市有財産明細表

某 所 校 園 所 屬

土地家屋ノ部		所在地	
種別	坪數	所	在 地
宅 地			
畑 地			
家 屋			
、、、、			

公債證書現金ノ部

庭石ノ類何	點	、	、	、	、	、	、
塵芥箱何	箇	、	、	、	、	、	、

水道

○水道敷設事務所設置明治二十四年七月二十八日
大阪市告示參第二十四號

本市會ノ議決ヲ經テ大阪市水道敷設事務所ハ當分大阪府廳内ニ設置ス

○水道敷設事務所職員及處務規程明治二十四年八月一日
大阪市告示參第二十六號

本市會ノ議決ヲ經テ大阪市水道敷設事務所職員及處務規程左ノ通相定ム

大阪市水道敷設事務所職員及處務規程

第一條 水道敷設事務所ニ職員ヲ置ク左ノ如シ

所長 壹人

委員長ヲ以テ之ニ充ツ

委員長 壹人

市參事會員ヲ以テ之ニ充ツ

委員 九人

名譽職市參事會員壹人市會議員四人市公民中撰舉權ヲ有スル者四人ヲ以テ之ニ充ツ

事務長 壹人

事務員 若干人

工事長 壹人

副工事長 壹人

技師 若干人

技手 若干人

助手 若干人

第二條 所長ハ所員ヲ統督シ水道敷設ニ關スル一切ノ事務ヲ掌理ス

第三條 委員長ハ委員會ノ整理ヲ掌ル 但委員長事故アルトキハ名譽職市參事會員ヨリ出ツル委員之ヲ代理ス

第四條 委員ハ水道敷設ニ關スル一切ノ事務ニ參與シ且之ヲ監督ス

第五條 事務長ハ所長ノ指揮ヲ受ケ庶務ヲ分掌ス

第六條 事務員ハ所長及事務長ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事ス

第七條 工事長ハ工事ニ關スル一切ノ事務ヲ掌リ技師以下ヲ指揮ス

第八條 副工事長ハ工事長ヲ補佐シ工事長事故アルトキ其職務ヲ代理ス